Pioneer

ブルーレイディスクサラウンドシステム

HTZ-626BD

XV-BD121W | ブルーレイディスクレシーバー

S-BD121 | スピーカーシステム

準備
接続
基本設定
再生
ホームメディアギャラリー
ウェブコンテンツの再生
いろいろな機能
詳細設定
その他／困ったとき

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

もくじ

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

いろいろな機能

詳細設定

その他 / 困ったとき

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意 (警告を含む) しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容 (左図は感電注意) が描かれています。

⃠ 記号は禁止 (やってはいけないこと) を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図は分解禁止) が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容 (左図は電源プラグをコンセントから抜け) が描かれています。

警告

❖ 異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物などが入ったときは、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損したときは、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

❖ 設置

付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用いただけません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。

また、電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁などから間隔をとり、ラックに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→ あおむけや横倒し、逆さまにする。
→ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→ じゅうたんやふとんの上に置く。
→ テーブルクロスなどをかける。

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

❖ 使用環境

本機に水が入ったり、濡れたりしないようにご注意ください。火災·感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場·シャワー室などでは使用しないでください。火災·感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

濡れた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

❖ 設置

本機の使用環境について
本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja

⚠注意

本機を設置するときには、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。
ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm以上、背面から 10 cm以上、側面から 10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、スピーカーなどに機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源スイッチを切って必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重いときは、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

❖ 使用方法

音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ディスクを使用する機器のときは、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。

❖ 電池

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を機器内に挿入するときは、極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれたときは、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

❖ 保守・点検

5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

⚠ 3D視聴に関するご注意

3D 映像の視聴中に疲労、不快感など、異常を感じたときは視聴を中止してください。

発達段階にあるお子様 (特に 6 歳未満) の 3D 視聴は視力に影響を及ぼす可能性があるので、疲労や不快感がないか保護者の方がご注意ください。

3D 映画の視聴は適度に休憩をとってください。

◆ 長時間の視聴は疲労や不快感の原因になることがあります。

注意

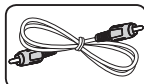
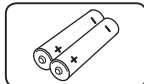
この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

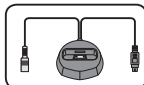
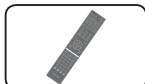
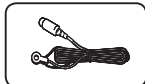
クラス 1 レーザ製品

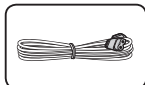
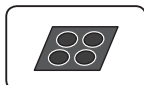
D58-5-2-2a_A1_Ja

準備

付属品を確認する

本体部

ビデオケーブル× 1

リモコン× 1

単 4 形乾電池× 2

FM アンテナ× 1

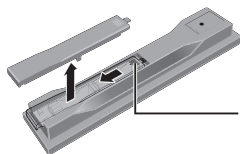
iPod クレードル× 1

電源コード

スピーカー部

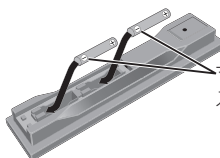
滑り止めパッド× 6

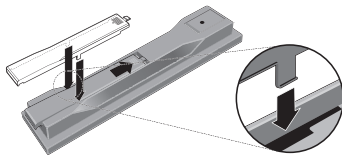
ネジ（M4x12 mm）× 5

● このネジはスピーカースタンドを固定するときに使います。

リモコンに電池を入れる

1 裏ぶたを開ける

2 付属の乾電池〈単 4 形× 2 個〉を入れる

収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

3 裏ぶたを閉める

カチッと音がするまで確実に閉めてください。

本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となることがあります。電池の交換には、長期間使用可能な市販のアルカリ電池をお勧めします。

ご注意

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をリモコン内にセットするときは、極性表示（⊕極と⊖極）に注意し、表示どおりに入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 不要になった電池を廃棄するときは、各地の地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ソフトウェアの更新について

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ホームシアターシステムに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/product/theater.html

再生できるディスク / ファイル

再生できるディスク

下記のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

ご注意

- **他機器で録画したディスクを再生するときは、必ずファイナライズしてください (本機ではファイナライズできません)。**

ディスクの種類		ロゴ	アプリケーションフォーマット					
			BDMV	BDAV	DVD ビデオ	DVD VR	音楽 CD DTS-CD	データ ディスク※1
ブルーレイディスク (BD)※2	BD-ROM	Blu-ray Disc	○	○	×	×	×	×
	BD-R		○	○	×	×	×	×
	BD-RE		○	○	×	×	×	×
DVD	DVD-ROM	DVD VIDEO / DVD ROM	○	×	○	×	×	○
	DVD-R※2,3,4	DVD R	○※5	○※6	○	○	×	○
	DVD-RW※3,7	DVD RW	○※5	○※6	○	○	×	○
	DVD+R※2,3		○	×	○	×	×	○
	DVD+RW※3		○	×	○	×	×	○
CD	CD-DA (音楽 CD)※8	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / SUPER AUDIO CD	×	×	×	×	○	×
	CD-R※3		×	×	×	×	○	○
	CD-RW※3		×	×	×	×	○	○
	CD-ROM		×	×	×	×	○	○

※1 映像、画像または音声ファイルが記録されているディスク。マルチセッションには対応していません。
※2 二層ディスクを含む。
※3 本機で再生するときは、ファイナライズしてください。
※4 オーサリング用の DVD-R（3.95 GB、4.7 GB）は再生できません。
※5 AVCHD フォーマットを含む。
※6 AVCREC フォーマットを含む。
※7 Version1.0 の DVD-RW は再生できません。
※8 ビデオ CD を含む。

◆ “Blu-ray Disc”、“Blu-ray”および“Blu-ray Disc”ロゴ は Blu-ray Disc Association の商標です。

◆ DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

◆ 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

❖ 再生できないディスク

- HD DVD
- DVD-RAM

上記以外にも再生できないディスクがあります。

本機は NTSC(日本のテレビ方式) に適合しています。ディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに「NTSC」と表記されているディスクを再生できます。また、PAL 方式のディスクも再生可能です。

お知らせ

・前ページの表のロゴが付いていても、再生できないディスクもあります。
・8 cm ディスクを再生するときは、ディスクトレイの 8 cm ディスク専用の枠にセットしてください。アダプターは不要です。BD-ROM の 8 cm ディスクは再生できません。

❖ 無許可コピーディスクの再生について

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めのときは、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

◆ Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia ™は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

❖ 音声フォーマットについて

本機は下記の音声フォーマットに対応しています。

Dolby TrueHD	DTS-HD High Resolution Audio
Dolby Digital Plus	DTS Digital Surround
Dolby Digital	MPEG オーディオ（AAC）
DTS-HD Master Audio	リニア PCM

Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、DTS-HD Master Audio、または DTS-HD High Resolution Audio を楽しむには、各音声フォーマットが収録されている BD をセットしたあとに、メニュー画面でその音声フォーマットを選んでください。

◆ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

◆ 米国特許 5956674 号、5974380 号、6226616 号、6487535 号、7392195 号、7272567 号、7333929 号、7212872 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS-HD、記号、および DTS-HD と記号の組み合わせは DTS 社の登録商標であり、また、DTS-HD Master Audio | Essential は DTS 社の商標です。製品はソフトウェアを含んでいます。© DTS 社不許複製。

❖ BD の再生について

- 以下の規格に対応している BD(BDMV) を再生できます。

  ー Blu-ray Disc Read-Only (ROM) Format Version 2
  ー Blu-ray Disc Recordable (R) Format Version 2
  ー Blu-ray Disc Rewritable (RE) Format Version 3

  BD-ROM Profile 5 に対応しています。

◆ “Blu-ray 3D”または“Blu-ray 3D”ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

第 2 映像（ピクチャーインピクチャー）や第 2 音声 (セカンダリーオーディオ) などの BONUSVIEW 機能を楽しめます。BONUSVIEW 機能で使用するデータ(第 2 映像 (ピクチャーインピクチャー)、第 2 音声 (セカンダリーオーディオ)）はメモリーに記憶されることがあります。第 2 映像や第 2 音声の再生などについてはディスクの説明書をご覧ください。

BONUS *VIEW* ™

◆ “BONUSVIEW”は Blu-ray Disc Association の商標です。

インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声 / 字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどの BD-LIVE 機能が楽しめます。BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータ（予告編映像など）はメモリーに記憶されます。BD-LIVE 機能についてはディスクの説明書をご覧ください。

◆ “BD LIVE”ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

BD-ROM では、BD-J(Java) アプリケーションを利用することにより、ゲームなどを含むよりインタラクティブ性の高いタイトルを制作できます。

◆ Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- 以下の規格に対応している BD(BDAV) を再生できます。

  Blu-ray Disc Recordable (R) Format Version 1
  Blu-ray Disc Rewritable (RE) Format Version 2

❖ DVD の再生について

◆ この表示は VR フォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）記録された DVD-RW が再生できる機能を示します。ただし、1 回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM 対応機器で再生が可能です。

AVCHD は、高効率な符号化技術を使ってさまざまなメディアに高精細なハイビジョン信号を記録する、ハイビジョン (HD) デジタルビデオカメラの規格です。

AVCHD™

◆ “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

AVCREC は、BDAV のコンテンツを DVD で記録 / 再生できるように開発された規格です。

AVCREC™

◆ “AVCREC”および AVCREC は商標です。

❖ リージョンナンバー（地域番号）について

ブルーレイディスクプレーヤーと BD-ROM または DVD ビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。本機（日本向け）のリージョンナンバーは

- BD-ROM：A
- DVD ビデオ：2

です。この番号が含まれていないディスクは再生できません。本機で再生できるディスクは下記のとおりです。

- BD：**A（A を含む）、ALL**
- DVD：**2（2 を含む）、ALL**

❖ CD の再生について

- コピーコントロール CD について … この製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

❖ DualDisc の再生について

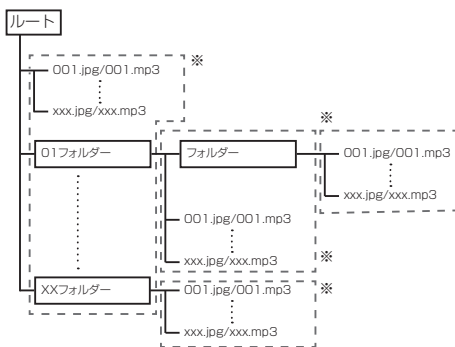
- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入したり取り出したりするときに、再生面の反対側の面に傷がつくことがあります。傷がついた面は再生すると不具合が出ることがあります。
- なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

❖ パソコンや BD/DVD レコーダーで作成したディスクの再生について

- アプリケーションの設定やパソコンの環境設定によっては、パソコンで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。
- パソコンや BD/DVD レコーダーで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくないときは、再生できないことがあります。

❖ 映像ファイル、音声ファイル、画像ファイルとフォルダーについて

下記のようにディスクや USB デバイスにフォルダーを作成すると、音声ファイルや画像ファイルを本機で再生できます。

フォルダー構成例：

※…ルートディレクトリを含め、1 つのフォルダーに含まれるフォルダーとファイルの数は最大 256 個です。また、フォルダー階層は最大 5 階層にしてください。

お知らせ

・本機で表示されるファイル名やフォルダー名は、パソコン上の表示と異なることがあります。

再生できるファイル

DVD、CD または USB デバイスに記録されている動画、画像および音声ファイルを再生できます。

ご注意

・DVD では ISO 9660 ファイルシステムで記録されているファイルだけ再生できます。
・ファイルによっては再生できないことがあります。
・ファイルによっては再生中にできない機能があります。
・本機で再生できるファイルの拡張子が付いていても、再生できないことがあります。
・DRM(デジタル著作権管理) で保護されているファイルは再生できません (DivX VOD ファイルを除く)。

❖ 動画ファイルの対応フォーマット

- DivX Plus ™ HD

◆ プレミアムコンテンツを含む最高 HD 1080p の DivX® および DivX Plus ™ HD（H.264/MKV）ビデオ再生対応の DivX Certified®（DivX 認証）取得済み。

◆ DIVX ビデオについて：DivX® は、Rovi Corporation の子会社である DivX, LLC. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオの再生に対応した正規の DivX Certified®（DivX 認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルを DivX 形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.com をご覧ください。

◆ DivX ビデオオンデマンドについて：DivX ビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、この DivX Certified®（DivX 認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、[本体設定] → [再生] → [DivX(R) VOD DRM] で確認できます **(44 ページ)**。詳細情報と登録方法については、vod.divx.com をご覧ください。

◆ DivX®、DivX Certified®、DivX Plus® HD、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporation およびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

お知らせ

DivX VOD（ビデオ・オン・デマンド）のコンテンツは DiviX DRM（デジタル・ライツ・マネジメント）システムによって保護されています。

認可を受けていない DivX VOD（ビデオ・オン・デマンド）コンテンツを再生しようとすると、エラーメッセージが表示され、再生することができません。

詳しくは、www.divx.com/vod をご覧ください。

- DivX VOD（ビデオ·オン·デマンド）ファイルによっては、再生回数を制限されていることがあります。このようなファイルを再生するときは、残りの再生可能な回数が表示され、この数が 0 になると再生できません。([レンタル期間が切れています。] と表示されます。) 制限されていないファイルは、何度でも再生できます。このとき、残りの再生可能な回数は表示されません。
- DivX ビデオが含まれていないファイルは拡張子が ".avi" であっても再生できません。

❖ 再生できるファイル一覧

再生できるファイル（拡張子）	再生できるメディア			ファイルの仕様
	DVD-R/RW/-R DL/+R/+RW/+R DL、CD-R/RW	USB デバイス※1	ネットワーク※2	
MP3 (.mp3)	○	○	○	• サンプリング周波数：48 kHz まで • ビットレート：320 kbps まで • 音声タイプ：MPEG1 オーディオレイヤー 3
WMA (.wma)	○	○	○	• サンプリング周波数：48 kHz まで • ビットレート：192 kbps まで • 音声タイプ：WMA バージョン 9
LPCM (.wav)	○	○	○	• サンプリング周波数：192 kHz まで※3 • ビット数：16bit • チャンネル数：2ch
FLAC (.flac)	○	○	×	• サンプリング周波数：192 kHz まで • ビット数：16bit、24bit • チャンネル数：2ch
JPEG (.jpg/.jpeg)	○	○	○	• 最大解像度：4 000 x 3 000 ピクセル
DivX (.avi/.divx/.mkv)	○	○	○	• 対応バージョン：DivX® PLUS HD まで • 最大解像度：1 920 x 1 080 まで (DivX® PLUS HD)/1 280 x 720 まで (MKV)
MP4 (.mp4)	○	○	○	• 最大解像度：1 920 x 1 080 まで • ビデオ：MPEG4、MPEG-4 AVC (level 4.1) • オーディオ：AAC、MP3
WMV (.wmv)	○	○	○	• 最大解像度：1 280 x 720 まで • ビデオ：WMV9、WMV9AP (VC-1) • オーディオ：WMA
AVI (.avi)	○	○	○	• 最大解像度 1 920 x 1 080 まで • ビデオ：MPEG4 • オーディオ：MP3、AAC、AC-3

※1 本機は FAT16、FAT32 および NTFS のファイルシステムに対応しています。

※2 DMP として再生するときの条件です。詳しくは **33 ページ**をご覧ください。

※3 無線使用時は、サンプリング周波数 48 kbps までです。

お知らせ

- 上記記載の再生できるファイルでも、ファイルの構成やサーバーの能力によっては、再生できないことがあります。
- デジタル放送 (BS、CS、地上波) などを録画した著作権保護されたファイル·コンテンツは、LAN 経由では再生できません。
- DRM(デジタル著作権管理) で保護されているファイルは再生できません。
- LAN 経由では AVCHD コンテンツは再生できません。

商標とライセンス

HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface という用語、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の米国その他の国々における商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

米国特許 5956674 号、5974380 号、6226616 号、6487535 号、7392195 号、7272567 号、7333929 号、7212872 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS-HD、記号、および DTS-HD と記号の組み合わせは DTS 社の登録商標であり、また、DTS-HD Master Audio | Essential は DTS 社の商標です。製品はソフトウェアを含んでいます。© DTS 社 不許複製。

DLNA®、DLNA ロゴおよび DLNA CERTIFIED® は Digital Living Network Alliance の商標、サービスマークまたは認証マークです。

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup Mark は Wi-Fi Alliance の商標です。

x.v.Colour
x.v.Color

“x.v.Colour”、“x.v.Color”、 x.v.Colour および x.v.Color は、ソニー株式会社の商標です。

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

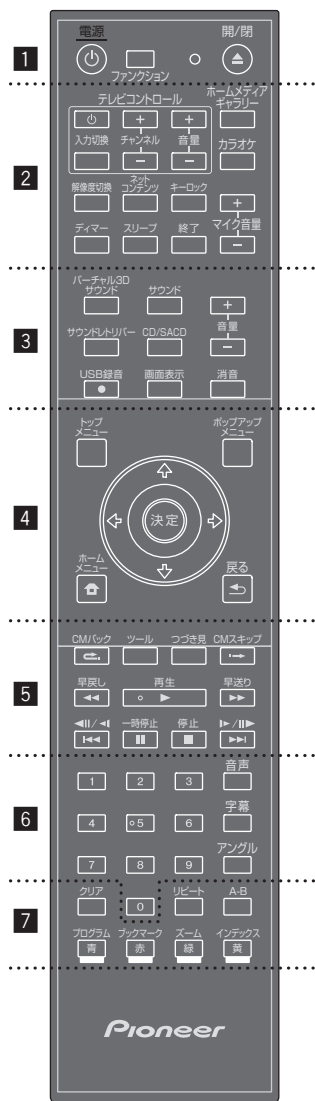
iPod、iPod classic、iPod nano、および iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

YouTube ™は Google Inc. の商標です。

Picasa ™ Web Album は Google Inc. の商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

各部の名前とはたらき

リモコン

1

⏻ 電源
本機の電源をオン / オフします。

ファンクション
入力や機能を変更します。

● **本体の表示窓を見ながら切り換えるとき**
1. **ファンクションボタン**を押す
   押すたびに入力モードが切り換わります。
2. 切り換えたい入力モードを選んで**決定ボタン**を押す

● **画面表示を見ながら切り換えるとき**
1. **ファンクションボタン**を押す
   ソースメニューが表示されます。
2. **ファンクションボタン**を押す
   押すたびに入力モードが切り換わります。
   また、⬅/➡ でも入力モードが切り換わります。
3. 切り換えたい入力モードを選んで**決定ボタン**を押す

ソースメニュー画面は、ホームメニューのソースメニューから選択する方法もあります。

ファンクションボタンは、ソースメニュー画面内の入力モードを切り換えます。

ディスクを再生するときは、ホームメディアギャラリーを選んで再生してください。(26 ページ)

▲ 開 / 閉
ディスクトレイを開閉します。

2

テレビコントロール (25 ページ)

ホームメディアギャラリー (33 ページ)

カラオケ
カラオケ設定画面を表示します。

解像度切換
HDMI端子から出力される映像の解像度を切り換えます。

ネットコンテンツ
ネットワークビデオコンテンツの画質を改善する機能です。

キーロック (14 ページ)

マイク音量 (40 ページ)

ディマー
押すたびに本体表示窓の明るさが切り換わります。

スリープ
スリープタイマーを設定します。

終了 (36 ページ)

3

バーチャル 3D サウンド (41 ページ)
バーチャル 3D サウンドの効果を切り換えます。

サウンド (41 ページ)
サウンドの設定に切り換えます。

音量
スピーカーの音量を調整します。

サウンドレトリバー (41 ページ)
サウンドレトリバーの効果を切り換えます。

CD/SACD (29 ページ)

USB 録音
USB デバイスに CD の曲を録音します。

画面表示
画面表示を切り換えます。

消音
一時的に消音します。

4

トップメニュー
BD-ROM または DVD ビデオのトップメニュー画面を表示します。

ポップアップメニュー / メニュー
BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を表示します。

⬆/⬇/⬅/➡
項目を選ぶ、または設定を変更するときなどに使います。また、カーソルを移動します。

決定
選んだ項目を実行する、または変更した設定を確定するときなどに使います。

ホームメニュー
[ホームメニュー] を表示 / 終了します。

戻る
1 つ前の画面に戻ります。

5

CM バック
再生中に押すと、10 秒前の映像に戻ります。

ツール (31 ページ)

つづき見 (32 ページ)

CM スキップ
再生中に押すと、30 秒先の映像に進みます。

◀◀ 早戻し (27 ページ)

▶ 再生 (26 ページ)

▶▶ 早送り (27 ページ)

I◀◀/◀II/◀I (27 ページ)

II 一時停止 (26 ページ)

■ 停止 (26 ページ)

I▶/II▶/▶▶I (27 ページ)

6

数字ボタン
メニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

音声 (29 ページ)

字幕 (29 ページ)

アングル (28 ページ)

7

クリア
番号の入力を取り消すときなどに使います。

リピート (27 ページ)

A-B (27 ページ)

青 / 赤 / 緑 / 黄
BD-ROM のメニュー画面を操作するときに使います。

プログラム (28 ページ)

ブックマーク (28 ページ)
ブックマークを作成します。

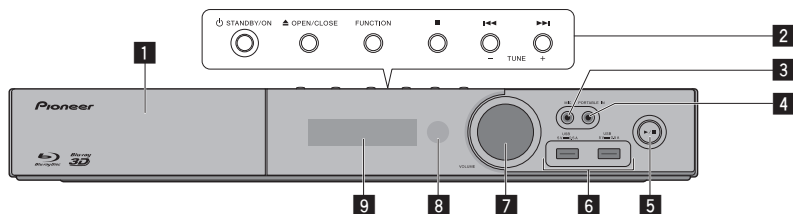
ズーム (28 ページ)

インデックス (28 ページ)
スライドショー再生します。

❖ 操作ロック機能

本機の誤動作を防ぐ機能です。この機能は、HDMI によるコントロール機能に対応しているテレビからの操作にも働きます。操作ロック機能をお使いになるときは、**キーロックボタン**を 2 秒以上押し続けます。再度**キーロックボタン**を 2 秒以上押し続けると操作ロック機能が解除されます。

- 操作ロック機能をオンにしたまま操作しようとすると、本体表示窓の [LOCK] が点灯します。

本体前面部

1　ディスクトレイ

2　**操作ボタン**（パネル上面）

⏻ STANDBY/ON
本機の電源をオン / オフ（スタンバイ状態）にします。電源をオフにできないときに、⏻**STANDBY/ON ボタン**を 5 秒以上押し続けると、本機が再起動して操作できるようになります。

⏏ OPEN/CLOSE

FUNCTION
入力や機能を変更します。

● **本体ボタンを使用して表示窓を見ながら切り換えるとき**
1. 本体 **FUNCTION ボタン**を押す
押すたびに入力モードが切り換わります。
2. 切り換えたい入力モードを選んで、本体 **▶/II（再生 / 一時停止）ボタン**を押して決定する

ファンクションボタンは、ソースメニュー画面内の入力モードを切り換えます。
ディスクを再生するときは、ホームメディアギャラリーを選んで再生してください。(26 ページ)

■（STOP）

⏮/⏭（SKIP）

TUNE − /+ (ラジオ選局)

3　**MIC 端子**

4　**PORTABLE IN 端子**
(3.5 mm ステレオミニプラグ)

5　▶/II（再生 / 一時停止）

6　**USB 端子**

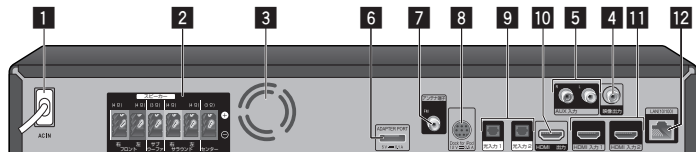
7　**ボリュームノブ**

8　**リモコン受光部**
約 7 m 以内の距離からここにリモコンを向けて操作します。本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けにくくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。

9　**表示窓**
入力モードや本機機能の状態などが表示されます。

⚠ 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。　D3-7-12-5-2a_A1_Ja

本体背面部

1　**AC 電源コード**
コンセントに差し込みます。

2　**スピーカー端子**

3　**冷却ファン**

4　**映像出力端子**

5　**AUX アナログ音声入力端子**

6　**アダプター端子**

7　**FM アンテナ端子**

8　**iPod (24 pin) 端子**
付属の iPod クレードルを接続します。

9　**光デジタル音声入力端子**

10　**HDMI 出力端子 (タイプ A)**
HDMI 入力端子を持つテレビと接続します。

11　**HDMI 入力 1/ 入力 2 端子（タイプ A）**

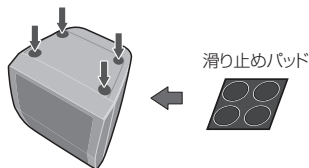
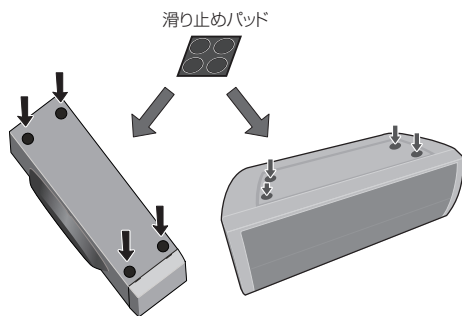
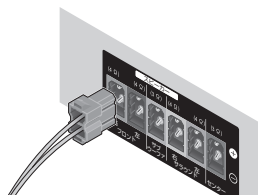
12　**LAN（10/100）端子**

スピーカーの設置

スピーカーの接続

1 付属の滑り止めパッドを各スピーカーの底面に貼り付ける

付属の滑り止めパッドを 4 カ所に貼り付けてください。

< フロント / サラウンドスピーカー >

< サブウーファー / センタースピーカー >

2 スピーカーのコネクターを同じ色のコネクターに差し込む

ご注意

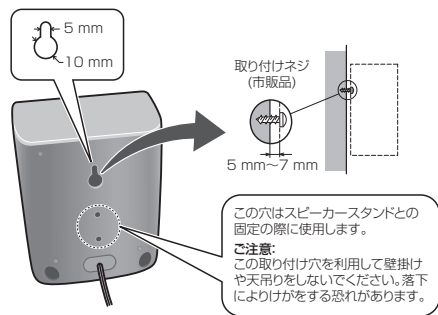
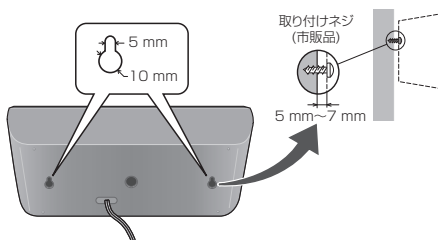
- 本機に付属のスピーカー以外のスピーカーを接続しないでください。故障や火災の原因となることがあります。
- 付属のスピーカーを他のアンプに接続しないでください。故障や火災の原因となることがあります。
- スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されています。感電の危険を避けるため、スピーカーを接続する前に必ず電源コードを抜いてください。

スピーカーを壁に取り付ける

スピーカーには取り付け用の穴があり、壁に取り付けることができます。

❖ 取り付ける前に

スピーカーシステムは重く、その重量でネジが緩んだり、壁材がスピーカーを支えきれなくなり、スピーカーが落下する可能性があります。スピーカーを取り付ける壁面は、スピーカーを支えるのに十分な強度があることを確認してください。合板または柔らかい表面の壁には取り付けないでください。

取り付け用のネジは付属していません。壁の材質に合ったもので、スピーカーの重量を支えることのできるネジを使用してください。

< センタースピーカーの場合 >

ご注意

- 壁の材質や強度などがわからないときは、専門業者にご相談ください。
- 据え付け・取り付けの不備による事故や損傷については、弊社では一切責任を負いません。

スピーカーの設置について

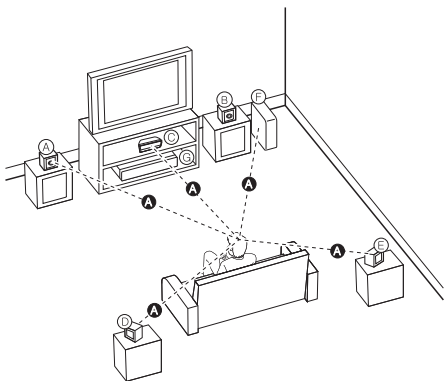
フロント左右のスピーカーをテレビから等距離に設置します。

ご注意

- 本機のスピーカー端子に接続したあと、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全ですと音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- ケーブルの芯線がはみ出して芯線どうしが触れたりすると、アンプ回路に過大な負荷が加わって音が出なくなったり、

電源がオフになることがあります。
- 本機に付属のスピーカーは、設置のしかたによってはまれにテレビ画面に色むらが生じることがあります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15 分～ 30 分後再度電源を入れてください。そのあとも色むらが残るようでしたら、スピーカーシステムをテレビから離してお使いください。
- サブウーファーは防磁型ではありませんので、テレビやモニターから離してお使いください。また、磁気に影響しやすい機器（磁気カード、腕時計、ビデオテープなど）はサブウーファーの近くに置かないでください。
- サブウーファーは壁や天井に取り付けないでください。落下してけがをしたり、スピーカーが破損する原因となります。

配置

最適なサラウンドサウンドを楽しむためには、下図の配置例のようにサブウーファー以外のスピーカーを視聴位置から等距離 (Ⓐ) に配置します。

Ⓐ **フロント左スピーカー (L)/**
Ⓑ **フロント右スピーカー (R)：**

モニターやスクリーンの横に配置して、できるだけ画面の表面とスピーカーの表面がそろうようにしてください。

Ⓒ **センタースピーカー (C)：**

モニターやスクリーンの上部または下部に配置します。

Ⓓ **サラウンド左スピーカー (SL)/**
Ⓔ **サラウンド右スピーカー (SR)：**

視聴位置よりも後ろに配置して、前面を少し内側に向けるようにします。

Ⓕ **サブウーファー (SW)：**

フロントスピーカーの近くに配置します。（低音はあまり指向性がないため、サブウーファーの位置はそれほど重要ではありません。）低音が壁に反射するのを抑えるために、部屋の中央に向くようにしてください。

Ⓖ 本体

ご注意

- サブウーファーダクト * の中にお子さまが手や異物を入れないように注意してください。
  * サブウーファーダクト : 低音の量を増やすためにサブウーファーキャビネット (エンクロージャ) にあいている穴
- スピーカーをお子さまの手の届かない安全な場所に置いてください。スピーカーが落下して、けがをしたり、物が壊れたりする危険性があります。

テレビと接続する

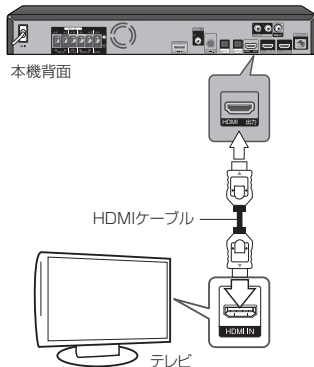
接続するテレビに応じて、以下のいずれかの接続を行ってください。

- HDMI ケーブルで接続する **(17 ページ)**
- ビデオケーブルで接続する **(18 ページ)**

お知らせ

- 接続するテレビやその他の周辺機器によって、本機への接続方法は数多くあります。以下で説明するいずれかの方法で接続してください。
- 正しく接続できるように、必要に応じてお持ちのテレビおよびその他の周辺機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は直接テレビに接続してください。
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピー保護技術に対応しています。そのため、DVD レコーダー / ビデオデッキを通してテレビと接続したり、プレーヤーの出力を DVD レコーダー / ビデオデッキで録画して再生すると、映像が正しく映らないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピー保護によって映像が正しく映らないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。
- 本機でディスクを再生しているときに、HDMI 入力されたテレビからも音声が出力されますが、故障ではありません。

HDMI ケーブルで接続する

HDMI 入力端子のあるテレビやモニターをお持ちのときは、HDMI ケーブルを使用して本機に接続できます。本機の HDMI 出力端子と、テレビやモニターの HDMI 入力端子に接続します。

テレビの入力モードを HDMI に設定します（テレビの取扱説明書をご覧ください）。

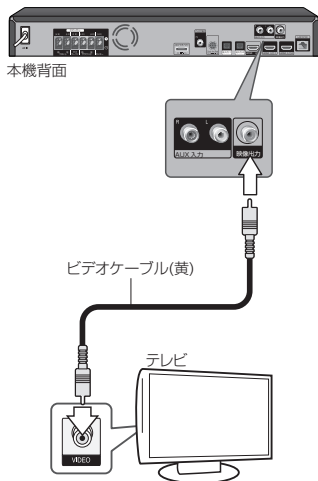
ご注意

- HDMI ケーブルでテレビと接続しただけでは、テレビの音声を本機で聴くことができません。「テレビやデジタルオーディオ機器と接続する」**(19 ページ)** の光ケーブルの接続か、または「アナログオーディオ機器と接続する」**(18 ページ)** のアナログオーディオの接続も行ってください。

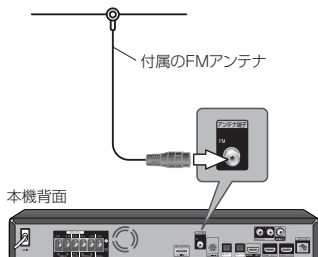
DVI 機器と接続したいとき

- **HDCP に対応していない DVI 機器 (パソコンのディスプレイなど) には接続できません。**HDCP とは、DVI/HDMI 接続で音声・映像コンテンツを保護するための規格です。
- 音声が出力されません。オーディオケーブルなどで接続してください。
- 本機は HDMI 対応機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続したとき、DVI 機器によっては正常に動作しないことがあります。

ビデオケーブルで接続する

ビデオケーブルを使用して、本機の映像出力端子とテレビの映像入力端子を接続します。

FM アンテナを接続する

付属の FM アンテナを本機のアンテナ端子接続して FM ラジオ放送を聴くことができます。

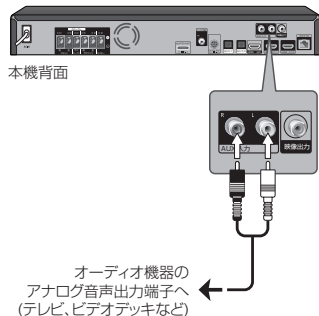
FM ラジオの聴きかたについては、**39 ページ**をご覧ください。

お知らせ

- FM アンテナは、たらしておいたり丸めたままにしないで、最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープなどで固定してください。
- 受信状態が改善しないときは、販売店とご相談のうえ、市販の FM アンテナをご購入ください。

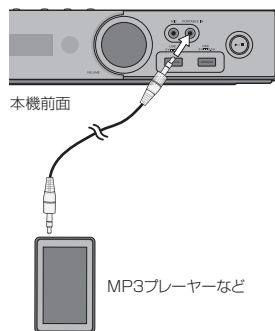
外部機器と接続する

アナログオーディオ機器と接続する

アナログ音声出力端子のあるオーディオ機器を本機の AUX 入力端子に接続して、その音声を楽しむことができます。

AUX 入力端子に接続した機器の音声を聴くには、**ファンクションボタン**を押して [AUX] を選んで、**決定ボタン**を押します。

ポータブルオーディオプレーヤーと接続する

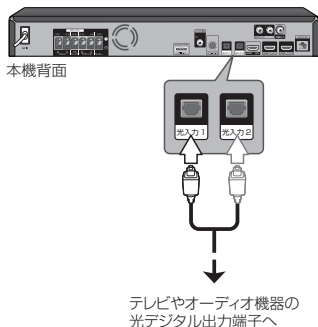
ポータブルオーディオプレーヤーを本機に接続して、その音声を楽しむことができます。本機の PORTABLE IN 端子とポータブルオーディオプレーヤーのヘッドホン (またはライン出力）端子を接続します。

PORTABLE IN 端子に接続した機器の音声を聴くには、**ファンクションボタン**を押して [ポータブル] を選んで、**決定ボタン**を押します。

ご注意

- PORTABLE IN 端子にポータブルオーディオプレーヤーのヘッドホン（またはライン出力）端子を接続するときは、本機が移動しないように手でしっかりと支えてください。

テレビやデジタルオーディオ機器と接続する

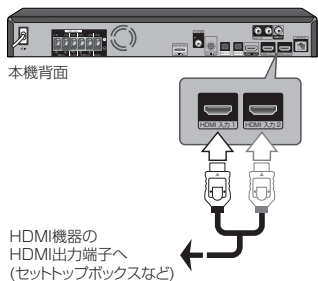
光デジタル音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器を本機の光デジタル音声入力端子に接続して、その音声を楽しむことができます。

光デジタル音声入力端子に接続した機器の音声を聴くには、**ファンクションボタン**を押して [光入力] を選んで、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- 本機に接続可能な光デジタルケーブルは、角形プラグタイプです。
- テレビにデジタル音声の出力に関する設定があることがあります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- デジタル入力端子に MPEG2-AAC（デジタル放送）信号を入力したとき、音が出ないことがあります。
  そのときは、デジタル入力端子に接続した機器の音声出力を PCM に切り換えてください。
  切り換え方法は、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI 機器と接続する

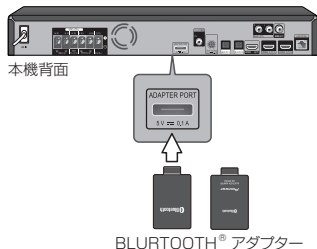
HDMI 出力端子のある機器を本機の HDMI 入力 1/ 入力 2 端子に接続して、その音声と映像を楽しむことができます。

HDMI 入力 1/ 入力 2 端子に接続した機器の音声と映像を楽しむには、ファンクションボタンを押して [HDMI 入力 1/ 入力 2] を選んで、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- HDMI 入力 1/ 入力 2 に入力された映像信号の解像度は、外部機器側で設定してください。
- HDMI 入力 1/ 入力 2 端子にパソコンを接続したとき映像信号に異常がある場合は、パソコンの解像度を 576p、720p、1080i または 1080 p に変更してください。
- HDMI 入力 1/ 入力 2 に入力された映像信号は、本機の映像出力からは出力されません。
- 接続機器の 3D 映像信号出力の種類によっては、3D 映像を出力できないことがあります。

BLUETOOTH® アダプターを接続する

別売りの BLUETOOTH® アダプター AS-BT100 または AS-BT200 を本機に接続するだけで、*Bluetooth®* 機能搭載機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

Bluetooth® 機能搭載機器の音楽の再生については、「BLUETOOTH® アダプターを使用してワイヤレスで音楽を楽しむ」**(39 ページ)** をご覧ください。

ご注意

- BLUETOOTH® アダプターを本機に接続した状態で、本機を移動させないでください。破損や接触不良の原因となります。

お知らせ

- 本機で *Bluetooth®* 機能搭載機器の音楽を再生するには、*Bluetooth®* 機能搭載機器がプロファイル :A2DP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth®* 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

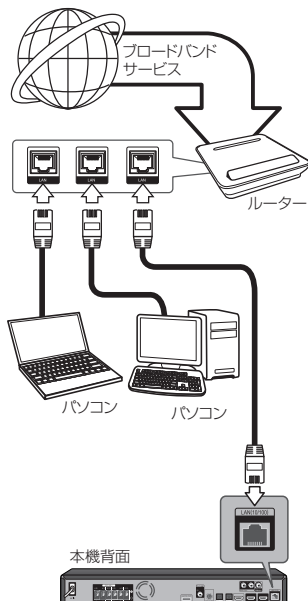
ネットワークに接続する

LAN 端子でネットワークに接続する

本機は背面の LAN 端子から、ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続できます。

詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

LAN ケーブルを使用して、本機の LAN 端子と、お持ちのモデムまたはルーターの LAN 端子を接続してください。

LAN ケーブルは、RJ45 形状のコネクターで、カテゴリー 5（CAT5）準拠以上のストレートケーブルを使用してください。

お知らせ

- インターネットに接続するときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- LAN ケーブルの抜き差しは、プラグ部分を持って行ってください。LAN ケーブルを抜くときは、ケーブルを引かずにプラグのツメを押しながら抜いてください。
- 電話用のモジュラーケーブルを LAN 端子に接続しないでください。
- 接続方法にはいろいろな方法がありますので、お客様がご利用されている電話会社や、インターネットサービスプロバイダーの仕様に従ってください。
- パソコンまたは DLNA サーバーのコンテンツにアクセスするときは、本機をそれらの機器と同じ LAN ネットワークに接続する必要があります。

ワイヤレス接続する

本機はアクセスポイントや無線ルーターを使用して、無線 LAN 経由でネットワークに接続できます。

本機は IEEE802.11n（シングルバンド、2.4 GH z帯）対応の無線モジュールが搭載されています。また、802.11b/g にも準拠しています。

IEEE802.11n に準拠したアクセスポイントや無線ルーターでの接続をお勧めします。

お知らせ

- 接続やネットワークの設定について、詳しくはアクセスポイントまたは無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレス設定をする

準備

設定する前に下記を行ってください。

– ワイヤレス接続をします。

– アクセスポイントまたは無線ルーターをセットします。

– SSID およびネットワークのセキュリティコードをメモしておきます。

1 [本体設定] → [ネットワーク] → [インターフェース] から [ワイヤレス] を選んで、決定ボタンを押す

2 [本体設定] → [ネットワーク] → [ワイヤレス設定] から [次画面へ] を選んで、決定ボタンを押す

3 [はい] を選んで、決定ボタンを押す

新しい接続設定をするときは、現在の設定を解除してください。

4 [ワイヤレス設定] が表示されたら ⬆/⬇ で [スキャン] を選ぶ

5 ←/→ で [次へ] を選んで、決定ボタンを押す

本機が利用可能なアクセスポイントまたは無線ルーターをスキャンしてディスプレイにリスト表示します。

6 リスト内から ↑/↓ でアクセスポイントまたは無線ルーターを選んで、決定ボタンを押す

- アクセスポイントまたは無線ルーターのセキュリティを設定しているときは、本機に入力された WEP または WPA キーと一致している必要があります。必要に応じて、セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードの入力のしかた

① ↑/↓/←/→ でセキュリティコード欄を選んで、**決定ボタン**を押し、ソフトウェアキーボードを起動する。

② ↑/↓/←/→ で文字や項目を選んで、**決定ボタン**で入力する。

③ ↑/↓/←/→ で [abc]、[ABC]、[!@#$] を選んで、決定ボタンで小文字、大文字、記号に切り換える。

④ ↑/↓/←/→ で [Enter] を選んで、**決定ボタン**を押し、セキュリティコード入力を終了する。

7 ↑/↓/←/→ で [次へ] を選んで、決定ボタンを押す

接続が成功すると IP アドレスが取得されます。

8 決定ボタンを押す

ワイヤレス設定が終了します。

お知らせ

- WEP キーは、アクセスポイントまたは無線ルーターの設定に使用できるキーを 4 つ持っています。アクセスポイントまたは無線ルーターに WEP キーを設定しているとき、ホームネットワークには WEP キーを 1 つ設定できます。
- アクセスポイントとは、ワイヤレスでホームネットワークに接続するための機器です。

[スキャン]

本機が利用可能なアクセスポイントまたは無線ルーターをスキャンしてディスプレイにリスト表示します。

[手動]

アクセスポイントのネットワーク名（SSID) は送信できません。お使いのパソコンを介してルーターの設定を確認しネットワーク名（SSID) を送信するか、[Manual] でネットワーク名（SSID) を手動で設定してください。

[自動]

プッシュボタンの設定方法をサポートしているアクセスポイントまたは無線ルーターをお使いで [Auto] を選んだときは、120 秒以内にアクセスポイントまたは無線ルーターのプッシュボタンを押してください。アクセスポイントまたは無線ルーターのネットワーク名（SSID) とセキュリティコードは必要ありません。

お知らせ

- ネットワーク上に DHCP サーバーがなく IP アドレスを手動で設定するときは、「IP アドレスを設定する」**(46 ページ)**をご覧ください。

WPS (Wi-Fi) を設定する

❖ WPS 接続設定をする

WPS とは Wi-Fi Protected Setup の略称です。無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に行うことができるための規格で、業界団体 Wi-Fi Alliance が仕様を定めました。

本機はプッシュボタンおよび PIN コードの設定をサポートしています。

PBC(プッシュボタンの設定)

WPS 対応のアクセスポイントに搭載された WPS ボタンを押すと、ワイヤレス設定に必要な認証と登録を自動的に行うことができます。

PIN 方式

それぞれの機器に振り分けられている 8 桁の PIN コードを入力するとワイヤレス設定ができます。

お知らせ

設定するときは、[本体設定] → [ネットワーク] → [インターフェース] で [ワイヤレス] を選んでください。

1 ホームメニューボタンを押す

ホームメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓/←/→ で [本体設定] を選んで、決定ボタンを押す

本体設定画面が表示されます。

3 [本体設定] → [ネットワーク] → [ワイヤレス設定] で [次画面へ] を選んで、決定ボタンを押す

確認画面が表示されます。

4 ←/→ で [はい] を選んで、決定ボタンを押す

ワイヤレス設定画面が表示されます。

5 ↑/↓ で [自動] を選んで、決定ボタンを押す

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 設定画面が表示されます。

6 ↑/↓ で [■ PBC] または [■ PIN] を選ぶ

PBC を選んだとき：手順 7 へ

PIN を選んだとき：手順 8 へ

7 PBC（プッシュボタン）を使用して接続するときは、⬅/➡ で [PBC] 画面の [次へ] を選んで、決定ボタンを押す

120 秒以内にアクセスポイントの WPS ボタンを押してください。

8 PIN 方式を使用して接続するときは、[PIN] 画面で PIN コードを確認し [次へ] を選んで、決定ボタンを押す

9 手順 8 で確認した PIN コードをアクセスポイントに入力する

PIN コードの入力方法は、使用する機器によって異なります。詳細は、お使いの無線 LAN 機器の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク接続に関する注意

- ネットワークに接続できなくなったときは、ルーターやモデムをリセットすると、ネットワーク接続設定を解決できることがあります。本機の電源を切るか、ホームネットワークのルーターやケーブルモデムの電源ケーブルを抜いてください。次に、本機の電源を入れるか、ルーターやケーブルモデムの電源ケーブルを差し込んでください。
- インターネットサービスプロバイダーによっては、インターネットに接続できる機器の数が限られていることがあります。詳細については、お使いのインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 弊社は、お客様がご利用されているブロードバンド回線での接続、またはその他接続機器から起こる通信エラーや故障による、本機およびインターネット接続の不具合について一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できる BD-ROMディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のコンテンツの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造元にお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、ブロードバンド接続が必要なものもあります。
- 正しく接続や設定がされているときでも、インターネットの回線の状態により正常に動作しないことがあります。
- ブロードバンド回線の接続を提供しているインターネットサービスプロバイダーの制限により、インターネット接続の操作が正しくできないときもあります。
- 接続料やその他インターネットサービスプロバイダーより請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 本機との接続には 10BASE-T または 100BASE-TX の LAN 端子が必要です。ご利用のインターネットサービスがこれらの接続に対応していないときは、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- xDSL サービスをご利用するには xDSL モデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用するにはケーブルモデムが必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダーのアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります（ご利用のインターネットサービスプロバイダーの契約が 1 台のみの接続に制限されているときは、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります）。
- ご利用のインターネットサービスプロバイダーの規制や制限によっては、「ルーター」を使用できない、またはルーターの使用が制限されている可能性があります。詳細については、ご利用のインターネットサービスプロバイダーに直接お問い合わせください。
- ローカルエリアネットワーク上で使用していないネットワーク機器は、電源を切ってください。機器の中には、ネットワークトラフィックを生成しているものもあります。

USB デバイスの接続

本機は、USB デバイスに記録した動画、音楽、写真などのファイルを再生できます。各ファイルの再生手順については、それぞれの関連ページをご覧ください。

USB デバイスについて

本機に接続できる USB デバイスは下記のとおりです。

- USB2.0 対応の USB メモリー (容量 1 GB 以上、推奨 2 GB 以上) または HDD(容量 2 TB 以下)
- ファイルシステムが FAT16、FAT32

お知らせ

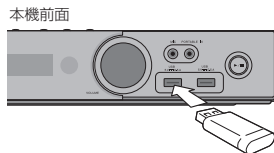
・上記以外のファイルシステムで初期化されているときは使用できません。ただし、本機で初期化すると使用できることがあります。
・USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、認識しないことがあります。
・USB デバイスによっては動作しないことがあります。
・接続する USB デバイスの動作保証はできません。

USB デバイスを接続する

ご注意

・USB デバイスを接続したり取り外したりするときは、必ず本機の電源をオフにしてください。
・HDD を使用するときは、必ず HDD の電源をオンにしてから本機の電源をオンにしてください。
・USB デバイスが書き込み禁止になっているときは、書き込み禁止を解除してください。
・USB ケーブルは、プラグを持って端子とプラグの向きを合わせて水平に抜き差ししてください。
・端子に負担がかかると、接触不良が発生して、USB デバイスのデータが読み書きできないことがあります。
・USB デバイスを接続して本機の電源をオンにしているときは、電源コードを抜かないでください。
・複数の USB デバイスを接続したとき、USB デバイスの番号は、接続している機器や状態によって変わることがあります。
・USB デバイスの番号は、**[ホームメニュー] → [ホームメディアギャラリー]** で確認できます。

1 USB デバイスを本機前面の USB 端子にしっかりと差し込みます。

本機前面

ご注意

・USB 端子に USB デバイスを接続するときは、本機が移動しないように手でしっかりと支えてください。

お知らせ

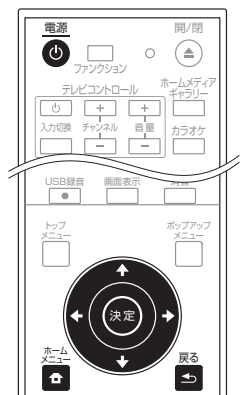
・メモリーカードや USB ハブを使用すると、本機が正しく動作しないことがあります。
・USB ケーブルをお使いになるときは、長さ 2 m 未満のケーブルを使用してください。

セットアップナビを使って設定する

下記のときは、必ずこの設定を行ってください。

- はじめて本機をお使いになるとき
- [本体設定] → [オプション] の [初期設定に戻す] を実行したとき

ご注意

・本機の電源をオンにする前に、本機と他機器が正しく接続されているかご確認ください。また、本機の電源をオンにする前に、本機と接続している機器の電源をオンにしておいてください。

1 接続しているテレビの電源をオンにして、入力を切り換える

- テレビの操作については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

2 電源をオンにする

⏻ **電源ボタン**を押します。

- セットアップナビが表示されているかご確認ください。

❖ セットアップナビが表示されないとき

ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示します。[本体設定] → [セットアップナビ] → [開始] を選んで、**決定ボタン**を押します。

3 セットアップナビを開始する

決定ボタンを押します。

4 テレビ画面に表示されるメニューの言語を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

5 接続しているテレビに合う解像度を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

6 接続しているテレビの縦横比を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

7 セットアップナビを終了する

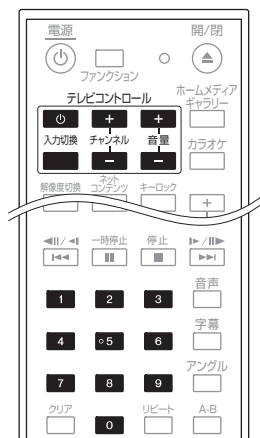
決定ボタンを押します。

- 設定が完了します。
- 前の画面に戻るときは、 **戻るボタン**を押します。

本機のリモコンでテレビを操作する

お使いのテレビのメーカーの、メーカーコードを本機のリモコンに設定すると、本機のリモコンでお使いのテレビを操作できます。

ご注意

- メーカーコード表にあるメーカーのテレビでも、機種によっては操作できないことがあります。
- 電池を交換すると、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、設定し直してください。

1 2 桁のメーカーコードを入力する

テレビコントロールの ⏻ **電源ボタン**を押しながら、**数字ボタン（0 ～ 9）**を押して入力します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は 00(パイオニア) です。
- メーカーコードを間違えて入力したときは、**テレビコントロール**の ⏻ **電源ボタン**から指を放して始めから設定し直してください。
- 1 つのメーカーに複数のメーカーコードがあるときは、操作できるまで順に設定してください。

2 テレビを操作できるか確認する

テレビコントロールボタンで操作します。

⏻ **電源ボタン**を押します。

⏻... テレビの電源をオン / オフします。

入力切換 ... テレビの入力を切り換えます。

チャンネル (＋ / −)... テレビのチャンネルを切り換えます。

音量 (＋ / −)... テレビの音量を調節します。

メーカーコード表

メーカー	コード
パイオニア	00, 22, 51
RCA	01, 15, 16, 17, 18, 61, 62
シャープ	02, 19, 27, 67, 90
ソニー	04
東芝	05, 26
日立	06, 24, 25, 33, 34, 54
Philips	07, 56, 68
パナソニック	08, 22
三菱	09
Goldstar	10, 23, 50
ビクター	13
サンヨー	14, 21, 45, 91
富士通ゼネラル	29
フナイ	40
NEC	59
アイワ	60
Samsung	44, 46, 69, 70
ユニデン	92

ディスク / ファイルを再生する

ここでは、本機の主な操作について説明します。

再生できるディスクについては「再生できるディスク」をご覧ください **(8 ページ)**。再生できるファイルについては「再生できるファイル」をご覧ください **(10 ページ)**。ディスクに記録されている画像や音声ファイルは、ホームメディアギャラリーを使って再生します **(33 ページ)**。

1 ⏻ 電源ボタンを押して電源をオンにする

● あらかじめテレビの電源をオンにして、入力を切り換えておいてください。

2 ⏏ 開 / 閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする

お知らせ

- 印刷面を上にしてディスクをセットしてください。
- ディスクの読み込みには数十秒かかります。読み込みが終了すると本体表示窓にディスクの種類が表示されます。
- BD レコーダーで録画するときに、視聴制限を設定された BD の視聴制限を解除するには、[パスワード変更] で登録したパスワードを入力してください **(47 ページ)**。

3 ▶ 再生ボタンを押して再生する

● 一時停止するには、再生中に ⏸ **一時停止ボタン**を押します。

● 停止するには、再生中に ■ **停止ボタン**を押します。

お知らせ

- ディスクトレイを閉じると自動で再生を始めるディスクもあります。
- BD-ROM/DVD ビデオには、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、[パスワード変更] で登録したパスワードを入力してください **(47 ページ)**。
- BD-R/-RE には、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、ディスクに設定されているパスワードを入力してください。
- 映像や音声が正しく出力されないときは、「故障かな？と思ったら」をご覧ください **(53 ページ)**。

❖ メニュー画面 (ディスクメニュー) が表示されたとき

ディスクによっては、再生を始めると自動でメニュー画面を表示するときがあります。メニュー画面の内容や操作方法は、ディスクによって異なります。

❖ 停止した場所から再生する (つづき見再生)

● 再生中に ■ **停止ボタン**を押すと、停止した場所を記憶します。▶ **再生ボタン**を押すと停止した場所から再生します。

● つづき見再生を解除するには、停止中に ■ **停止ボタン**を押します。

お知らせ

- 下記のとき、つづき見再生は自動で解除されます。
  - ー ディスクトレイを開けたとき。
  - ー ファイルのリスト画面を切り換えたとき。
  - ー 電源をオフにしたとき。
- 再生したい箇所を指定してつづき見再生したいときは、**32 ページ**をご覧ください。
- つづき見再生できないディスクもあります。

❖ 他の入力を選んでいるときにディスク / ファイルを再生する

1 ⏏ 開 / 閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットする

⏏ **開 / 閉ボタン**を押してディスクトレイを閉めます。

2 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

3 ディスクを選ぶ (BDMV/BDAV/DVD など)

早送り / 早戻しする

1 再生中に ◀◀ 早戻しまたは ▶▶ 早送りボタンを押す

● 押すたびに速さを切り換えられます (テレビ画面に速さが表示されます)。速さの段階はディスクまたはファイルによって異なります。

❖ 通常の再生に戻すには

▶ **再生ボタン**を押します。

チャプター / トラック / ファイルを指定して再生する

1 再生中に選択したいチャプター / トラック / ファイル番号を入力する

● **数字ボタン (0 〜 9)** で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。

● **クリアボタン**を押すと、入力した内容を取り消します。

頭出しする

1 ⏮ 前 または ⏭ 次 ボタンを押す

● ⏭ **次ボタン**を押すと、次のチャプター / トラック / ファイルの先頭に進みます。

● 映像または音声ファイルの再生中に ⏮ **前ボタン**を押すと、再生中のチャプター / トラック / ファイルの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前に戻ります。

● 画像ファイルの再生中に ⏮ **前ボタン**を押すと、1 つ前のファイルに戻ります。

スロー再生する

1 一時停止中に ◀II/◀I または I▶/II▶ ボタンを押し続ける

● 押すたびに速さを切り換えられます（テレビ画面に速さが表示されます)。

❖ 通常の再生に戻すには

▶ **再生ボタン**を押します。

コマ送り / コマ戻し再生する

1 一時停止中に ◀II/◀I または I▶/II▶ ボタンを押す

● 押すたびにコマ送り / コマ戻しします。

❖ 通常の再生に戻すには

▶ **再生ボタン**を押します。

指定した箇所を繰り返し再生する (A-B リピート再生)

1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を繰り返し再生します。

1 再生中に A-B リピート再生を始める箇所で A-B ボタンを押す

● テレビ画面に [A–] と表示されます。

2 A-B リピート再生を終了する箇所で A-B ボタンを押す

● テレビ画面に [A–B] と表示され、A-B リピート再生を始めます。

❖ A-B リピート再生を解除するには

A-B リピート再生中に **A–B ボタン**を押します。

お知らせ

・下記のとき A-B リピート再生は解除されます。
　ー リピート範囲外をサーチしたとき。
　ー 他のリピートまたはランダム再生を始めたとき。

繰り返し再生する (リピート再生)

再生中のディスク / タイトル / チャプター / トラック / ファイルを繰り返し再生します。

1 再生中にリピートボタンを押す

● 押すたびに、リピートモードを切り換えられます。リピートモードは以下のように切り換わります (テレビ画面に表示されます)。

BD
再生中のチャプター → 再生中のタイトル

DVD
再生中のチャプター → 再生中のタイトル → すべてのタイトル

CD/ 映像ファイル / 音声ファイル / 画像ファイル
再生中のトラック / ファイル → すべてのトラック / フォルダー内のすべてのファイル

❖ リピート再生を解除するには

再生中に**リピートボタン**を数回押します。

お知らせ

・下記のとき、リピート再生は解除されます。
　ー リピート範囲外をサーチしたとき。
　ー 他のリピートまたはランダム再生を始めたとき。

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

1 再生中にプログラム (青) ボタンを押す

● プログラム画面が表示されます。

2 プログラム番号を選ぶ

決定ボタンを押します。

3 再生するタイトル / チャプターを選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

4 ▶ 再生ボタンを押して再生する

再生が始まります。

❖ プログラムの内容を修正するには

修正するプログラム番号を選んで、**決定ボタン**を押します。⬆/⬇/⬅/➡ でタイトル / チャプターなどを選んで、**決定ボタン**を押します。

❖ プログラムを消すには

● 消したいプログラム番号を選んで、**クリアボタン**を押します。

● プログラムをすべて取り消すには、⮌ **戻るボタン**を押します。

お知らせ

- 音楽 CD のときは、手順 3 でトラック (Track) 番号を入力します。
- BD でこの機能は使用できません。

再生中の箇所にブックマークをつける

再生中の映像の好きな場面にブックマークをつけ、その場面をあとから再生できます。

1 再生中にブックマーク (赤) ボタンを押す

● ブックマークが登録されます。

● 最大で 12 カ所まで登録できます。

❖ 登録した箇所を再生する

1 ブックマーク (赤) ボタンを押し続ける

● ブックマーク一覧が表示されます。

2 再生するブックマークを選んで再生する

⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

❖ ブックマークを消すには

消したいブックマークを選んで、**クリアボタン**を押します。

お知らせ

- ブックマークできないディスクや場面もあります。
- 下記のときブックマークは解除されます。
  - ー 電源をオフにしたとき。
  - ー ディスクトレイを開けたとき。

画像を拡大 / 縮小する（ズーム）

1 再生中にズーム (緑) ボタンを押す

● 押すたびに倍率を切り換えられます。倍率は以下のように切り換わります (テレビ画面に表示されます)。

[ズーム 2x] ➞ [ズーム 3x] ➞ [ズーム 4x]➞ [ズーム 1/2] ➞ [ズーム 1/3] ➞ [ズーム 1/4] ➞ ノーマル (表示されません)

お知らせ

- ズームできないディスクもあります。

写真をスライドショー再生する

写真を自動で切り換えて表示します。

1 再生中にインデックス (黄) ボタンを押す

● 写真を一度に 12 枚ずつサムネイル表示します。

● 写真を選び**決定ボタン**を押すと、選んだ写真からスライドショーが始まります。

❖ 写真を回転 / 反転する

スライドショー再生中または一時停止中に ⬆/⬇/⬅/➡ を押すと、下記のように表示が切り換わります。

➡ : 右に 90 度回転

⬅ : 左に 90 度回転

⬆ : 上下方向にミラー反転

⬇ : 左右方向にミラー反転

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている BD-ROM または DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えられます。

1 再生中にアングルボタンを押す

● 現在のアングルと収録されているアングルの総数がテレビ画面に表示されます。アングルを切り換えるには、再度**アングルボタン**を押します。

● ツールメニューから **[アングル]** を選んでも切り換えられます。

● **アングルボタン**を押してもアングルが切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

字幕を切り換える

複数の字幕が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えられます。

ご注意

・レコーダーで録画したディスクでは字幕を切り換えられません。録画した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 再生中に字幕ボタンを押す

● 現在の字幕と収録されている字幕の総数がテレビ画面に表示されます。字幕を切り換えるには、再度**字幕ボタン**を押します。

● ツールメニューから **[字幕]** を選んでも切り換えられます。

● **字幕ボタン**を押しても字幕が切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

❖ 字幕を消すには

字幕ボタンを数回押すか、ツールメニューから **[字幕]** を選んで、設定を **[オフ]** にしてください。

音声を切り換える

複数の音声が収録されているディスクやファイルでは、再生中に音声を切り換えられます。

1 再生中に音声ボタンを押す

● 現在の音声と収録されている音声の総数がテレビ画面に表示されます。
音声を切り換えるには、再度**音声ボタン**を押します。

● ツールメニューから **[音声]** を選んでも切り換えられます。

● **音声ボタン**を押しても音声が切り換わらないときは、ディスクのメニュー画面で切り換えてください。

CD/SACD の再生エリアを切り換える

1 再生したいエリアを選ぶ

停止中に **CD/SACD ボタン**を押します。押すたびに本体表示窓に再生エリアが切り換わって表示されます。

[CD AREA] → [SACD 2CH] → [SACD MCH]→ (最初に戻る)

● 再生しているときは **■ 停止ボタン**を 2 回押して、つづき再生を解除してから再生エリアを選んでください。

2 ディスクトレイを開く

⏏ 開 / 閉ボタンを押します。

3 ディスクトレイを閉じる

⏏ 開 / 閉ボタンを押します。ディスクの読み込みが終わると、再生エリアが切り換わります。

ディスクの情報を見る

1 画面表示ボタンを押す

テレビ画面に表示されます。もう一度押すと表示が消えます。再生中と停止中で表示される情報が異なります。

BONUSVIEW や BD-LIVE を楽しむ

本機は BD ビデオの BONUSVIEW や BD-LIVE に対応しています。

BONUSVIEW 対応の BD ビデオでは、第 2 映像 (ピクチャーインピクチャー) **(31 ページ)**、第 2 音声 (セカンダリーオーディオ) **(31 ページ)** などが楽しめます。BD-LIVE 対応の BD ビデオでは、インターネットを経由して、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできます。

BD ビデオに記録されているデータや BD-LIVE からダウンロードしたデータは、USB メモリー（外部メモリー）に保存されます。これらの機能を楽しむときは、USB 2.0High Speed(480 Mbit/s) 対応の USB メモリー (最小容量 1 GB、推奨 2 GB 以上) を本機の **USB 端子**に接続してください。

● USB メモリーの接続 / 取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。

● USB メモリーの接続 / 取り外しのときは、本機が移動しないように手でしっかりと支えてください。

● USB メモリーに保存されている情報を再生するときは、ダウンロードしたときに視聴していたディスクをセットしてください (他のディスクをセットしているときは、USB メモリーに保存されている情報を再生できません)。

● 他のデータが記録された USB メモリーを使用すると、映像や音声が正しく再生されないことがあります。

● 再生中は USB メモリーを取り外さないでください。

● データの読み込み、書き込みに時間がかかることがあります。

ご注意

・USB メモリーの空き容量が少ないと、BONUSVIEW や BD-LIVE 機能が使えないことがあります。このときは [本体設定]→[オプション]→[BUDA]→[BUDA 設定] を選んで、USB メモリー内のデータを消去してください **(47 ページ)**。

お知らせ

・接続する USB メモリーの動作保証はできません。
・BD-LIVE 機能のデータなどの再生はディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
・BD-LIVE 機能を楽しむには、ネットワークの接続と設定をしてください (**20、43** ページ)。
・BD-LIVE は、インターネットに接続して楽しむ機能です。BD-LIVE 対応ディスクが、本機やディスクの識別信号 (ID) をインターネット経由でコンテンツプロバイダーに送信することがあります。

再生機能について

ディスクやファイルによってできる機能が異なります。下記の表でご確認ください。

機能※1	ディスク / ファイルの種類									
	BD-ROM	BD-R/-RE	DVD ビデオ	DVD-R /-RW (VR フォーマット)	AVC REC	AVCHD	映像 ファイル	画像 ファイル	音声 ファイル	音楽 CD
早送り / 早戻し※2	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3	×	○※4	○※4
タイトル / チャプター / トラックを指定して再生する	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
頭出し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スロー再生※5	○	○	○	○	○	○	○※6	×	×	×
コマ送り※2	○	○	○	○	○	○	○※7	×	×	×
A-B リピート※2	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
リピート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
アングル切換※8	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
字幕切換※9	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
音声切換※10	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
ディスク情報表示	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 表で [○] になっていても、ディスクやファイルによって働かない機能があります。
※2 チャプターが切り換わると、自動で通常の再生に戻るディスクもあります。
※3 早送り / 早戻し中は音声が出ません。
※4 早送り / 早戻し中も音声が出ます。
※5 スロー再生中は音声が出ません。
※6 逆スロー再生はできません。
※7 コマ戻し再生はできません。
※8 [アングルマーク] を [オン] に設定すると、複数のアングルが収録されている場面でアングルマークが表示されます **(44 ページ)**。
※9 ・収録されている字幕の種類はディスクによって異なります。
・現在の字幕と収録されている字幕の総数が表示されないですぐに切り換わる、またはディスクで用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。
※10 音声が収録されていないディスクもあります。

ツールメニューを使う

本機の動作状況に応じて、いろいろな機能を呼び出せます。

1 再生中にツールボタンを押す

ツールメニュー画面が表示されます。

2 項目を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- 変更できない項目もあります。また、本機の状態によって選択できる項目が異なります。

❖ 選んだ項目の設定を変更するには

⬆/⬇ で選びます。

❖ ツールメニューを終了するには

ツールボタンを押します。

❖ ツールメニュー項目一覧

項目	効果
タイトル	再生中のタイトル番号 / 総タイトル数を表示します。また、選んだタイトルを再生できます。**(右記)**
チャプター（トラック / ファイル）※1	再生中のチャプター（トラック / ファイル）/ 総チャプター数を表示します。また、選んだチャプター（トラック / ファイル）を再生できます。**(右記)**
時間	経過時間または残り時間を表示します。時間を指定して再生できます。**(右記)**
モード	再生モードを切り換えます **(32 ページ)**。
音声	音声を切り換えます。
アングル	BD-ROM/DVD ビデオのアングルを切り換えます。
字幕	字幕を切り換えます。
字幕タイプ	字幕の文字タイプを切り換えます。
第 2 映像※2	BD-ROM の第 2 映像 (セカンダリービデオ) を切り換えます。
第 2 音声※3	BD-ROM の第 2 音声 (セカンダリーオーディオ) を切り換えます。
ビットレート	音声 / 映像 / 第 2 映像 / 第 2 音声のレートを表示します。
静止画オフ	BD-ROM の静止画状態を解除します。
サーチ	自動で 30 秒先に進み、再生します。
リプレイ	自動で 10 秒前に戻し、再生します。
スライドショー	スライドショーの再生速度を切り換えます。
画面切替	スライドショーの再生方法を切り換えます。

※1 ディスクの種類によって、いずれかの情報が表示されます。
※2 **[第 2 映像マーク]** を **[オン]** に設定すると、第 2 映像が収録されている場面で第 2 映像マークが表示されます **(44 ページ)**。
※3 **[第 2 音声マーク]** を **[オン]** に設定すると、第 2 音声が収録されている場面で第 2 音声マークが表示されます **(44 ページ)**。

お知らせ

- ディスクによって、選択できる機能が異なります。
- 収録されている第 2 音声の種類はディスクによって異なります。
- 第 2 映像や第 2 音声が収録されていない BD-ROM もあります。
- 現在の第 2 映像 / 第 2 音声と収録されている第 2 映像 / 第 2 音声の総数が表示されないですぐに切り換わる、またはディスクで用意された切り換え画面が表示されるなどの場面もあります。

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

1 [時間] を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 時間を入力する

数字ボタン (0 ～ 9) で時間を入力します。⬅/➡ でカーソルを移動します。

- 45 分を再生するには 0、0、4、5、0、0 を入力して、**決定ボタン**を押します。
- 1 時間 20 分を再生するには 0、1、2、0、0、0 を入力して、**決定ボタン**を押します。
- **クリアボタン**を押すと、入力した内容を取り消します。

3 指定した時間から再生を始める

決定ボタンを押します。

タイトル / チャプター / トラック / ファイルを指定して再生する (サーチ)

1 [タイトル] または [チャプター（トラック / ファイル)] を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 タイトル / チャプター / トラック / ファイルの番号を入力する

数字ボタン (0 ～ 9) で入力します。

- 32 タイトルをサーチするには 3、2 を入力して、**決定ボタン**を押します。
- **クリアボタン**を押すと、入力した内容を取り消します。

3 指定した箇所から再生する

決定ボタンを押します。

指定した箇所から続けて再生する（つづき見再生）

電源をオフにしても、次回再生するときに指定した箇所から続けて再生できます。

❖ 指定する

1 再生中につづき見したい箇所でつづき見ボタンを押す

● 画面右上に指定した箇所の再生経過時間が表示されます。

❖ 再生する

1 ▶ 再生ボタンを押して再生する

つづき見再生の確認画面が表示されます。

2 [はい] を選んで決定する

⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

● 指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ

・ **⏏ 開 / 閉ボタン**を押すと、つづき見再生の設定は解除されます。
・ 正しくつづき見再生できないディスクもあります。

順不同に再生する（ランダム / シャッフル再生）

1 [モード] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 再生したいモードの種類を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

● ランダム再生

指定した範囲 (ディスク / タイトル / チャプター / トラックまたはファイル) で順不同に再生します。同じものが続けて再生されることもあります。

● シャッフル再生

指定した範囲 (ディスク / タイトル / チャプター / トラックまたはファイル) で順不同に再生します。すべてのものを 1 回ずつ再生します。

ホームメディアギャラリー

ホームメディアギャラリーについて

ホームメディアギャラリーではディスク、USB デバイス、または LAN 経由で本機に接続している、ネットワーク上の機器に記録されているタイトル / フォルダー / トラック / ファイルを一覧で表示できます (ホームメディアギャラリー)。ホームメディアギャラリーから再生できるディスク / 機器は下記のとおりです。**8 ページ**もあわせてご覧ください。

再生可能なディスク / 機器

- BD-R/-RE (BDAV フォーマット)
- DVD-R/-RW(VR フォーマット)
- 音楽 CD（CD-DA、SACD、DTS CD)
- 画像および音声ファイルなどのデータファイルだけが記録されている DVD/CD
- USB デバイス
- LAN 経由で本機に接続している、ネットワーク上の機器 (DLNA1.0 または DLNA1.5 に準拠したメディアサーバー機能を持つ機器)

お知らせ

・本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。

ネットワーク上のトラック / ファイルについて

本機は下記の技術を使ってネットワーク上の機器に保存されているファイルを再生します。

- Windows Media Player 11
- Windows Media Player 12
- DLNA

❖ ネットワークを使った外部コンテンツのご利用について

外部コンテンツのアクセスには高速インターネットへの接続が必要であり、プロバイダーへの登録や契約が必要となります。第三者が提供するコンテンツのサービスは、予告なく、変更、中断、中止される可能性があり、パイオニアは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。パイオニアは、外部コンテンツの提供サービスの継続や利用可能期間について、いかなる保証もいたしません。

❖ DLNA に準拠した機器の再生について

本機は下記の機器に保存されているネットワーク上のファイルを再生できます。

- OS が Microsoft Windows Vista または XP Service Pack 3 で、Windows Media Player 11 がインストールされているパソコン
- OS が Microsoft Windows 7 で、Windows Media Player 12 がインストールされているパソコン
- DLNA1.0 または DLNA1.5 に準拠したメディアサーバー（パソコンやネットワーク型ハードディスクなど）

上記のようなパソコンや DMS(デジタルメディアサーバー) に保存されたファイルは、DMP(デジタルメディアプレーヤー) で再生できます。本機はその DMP に対応しています。

DLNA について

Digital Living Network Alliance (デジタル･リビング･ネットワーク･アライアンス) の略です。ローカルエリアネットワーク (LAN) 上で接続したメーカーの異なるパソコンやデジタル家電の動画、音楽、または画像データなどを相互で視聴できるようにするためのデータの圧縮方式や転送方式の標準化を進めている団体の名称です。

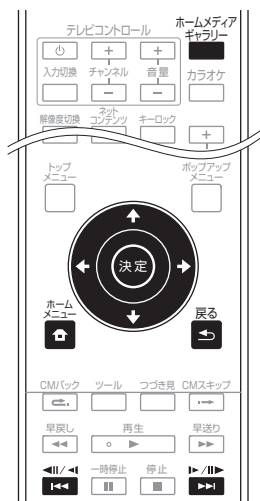
本機は DLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.5 に準じています。

DLNA CERTIFIED® Audio Player

DLNA® および DLNA CERTIFIED® は Digital Living Network Alliance の商標です。

お知らせ

- 接続している機器の種類やソフトウェアのバージョンによって働かない機能があります。
- 対応しているファイルの形式は接続している機器によって異なります。接続している機器が対応していない形式のファイルは表示されません。詳しくはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 接続している機器の性能や状態によって再生が停止したり、正しく再生できないことがあります。
- ネットワークの通信が混雑していると、ファイルが表示されない、または再生できないことがあります。ネットワーク上の機器と接続するときは 100BASE-TX のご利用をお勧めします。
- ネットワーク上の複数の機器が同じファイルを同時に再生すると再生が停止することがあります。
- 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされているとネットワークに接続できないことがあります。
- 弊社は、本機とネットワーク上で接続している機器の不具合やファイルまたはデータの破損などに関して、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。接続している機器のメーカー、またはプロバイダーにお問い合わせください。

ホームメディアギャラリーから再生する

ネットワーク上のファイルを再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

- ⌂ **ホームメニュー**を押して、[**ホームメディアギャラリー**] を選んで**決定ボタン**を押しても表示できます。

2 再生したいファイルが入っているサーバーを選ぶ

3 ファイルを選んで再生する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 再生を始めます。

❖ ホームメディアギャラリーを終了するには

ホームメディアギャラリーボタンを押します。

お知らせ

- ホームメディアギャラリー画面でサーバーが表示されていないときは、[DLNA サーチ] を選んで**決定ボタン**を押してください。

ディスク /USB を再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

- ⌂ **ホームメニュー**を押して、[**ホームメディアギャラリー**] を選んで**決定ボタン**を押しても表示できます。

2 ディスクまたは USB を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 [写真]/[音楽]/[映像]/[AVCHD] を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

- VR フォーマットで記録されたディスクを再生するときは、この操作を行いません。

4 トラック / ファイルを選んで再生する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 選んだトラック / ファイルから再生を始めます。
- フォルダーの中に再生したいトラック / ファイルがあるときは、そのフォルダーを選んで**決定ボタン**を押すと、中のファイルが表示されます。

❖ 画像のスライドショー再生について

ディスクまたはフォルダー内の画像ファイルを、自動で切り換えて表示します。

お知らせ

- 接続している機器や状態によって、再生開始や画面の切り換えなどに時間がかかることがあります。
- この機能から再生できないファイルもあります。
- 再生回数が制限されているファイルもあります。
- BD-R/-RE には、ディスクまたはタイトルに視聴制限が設定されているものがあります。視聴制限を解除するには、ディスクに設定されているパスワードを入力してください。

ホームメディアギャラリープレイリスト (HMG プレイリスト) から再生する

下記のディスク /USB に記録されているトラック / ファイル [HMG(ホームメディアギャラリー) プレイリスト] に追加することで、お好みの順番で再生できます。

- 音楽ファイルの記録された DVD/CD/USB デバイス

❖ トラック / ファイルをリストに追加する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押して ホームメディアギャラリーを表示する

- ホームメニューを押して、[ホームメディアギャラリー] を選んで**決定ボタン**を押しても表示できます。

2 ディスクまたは USB を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 追加したいトラック / ファイルを選ぶ

➡ で選びます。

4 ポップアップメニューを表示する

ポップアップメニューボタンを押します。

5 [HMG プレイリスト] にトラック / ファイルを追加する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 他のトラック / ファイルも [HMG プレイリスト] に追加するときは、手順 3 から 5 を繰り返してください。

❖ [HMG プレイリスト] から再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押して ホームメディアギャラリーを表示する

- ホームメニューを押して、[ホームメディアギャラリー] を選んで**決定ボタン**を押しても表示できます。

2 [プレイリスト] を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 トラック / ファイルを選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 選んだトラック / ファイルから再生を始めます。
- ⏮/⏭ で前または次のトラック / ファイルを再生します。

❖ トラック / ファイルをリストから削除する

1 削除したいトラック / ファイルを選ぶ

➡ で選んで、**ポップアップメニューボタン**を押します。

2 [プレイリストから削除] を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

ウェブコンテンツの再生

本機で一部のウェブコンテンツの視聴をお楽しみいただけます。

再生できるウェブコンテンツ

- YouTube（MPEG4 AVC H.264）
- Picasa

お知らせ

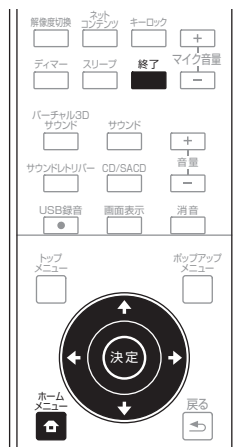
YouTube について

- 下記のサイズの YouTube 動画を再生できます。
  - 標準画質（400 × 226 ピクセル、200 kbps）
  - 中画質（480 × 360 ピクセル、512 kbps）
  - 高画質（854 × 480 ピクセル、900 kbps）
  - HD(720p)（1280 × 720 ピクセル、2 Mbps）
  - HD(1080p)（1920 × 1080 ピクセル、4 Mbps）
- 本製品で対応している YouTube サービスは YouTube Leanback です。本製品発売時点では YouTube Leanback アクセス画面の言語は英語のみで提供されています。詳しくは **http://www.google.com/support/youtube/?hl=jp** などの YouTube ヘルプをご覧ください。
- 携帯電話向けの YouTube 動画は再生できません。
- 再生できない YouTube 動画もあります。

Picasa について

- Picasa アクセス画面は英語によるご案内となります。使用方法などについては **http://picasa.google.com/support/** などの Picasa のご案内をご覧ください。
  - 本製品で Picasa ウェブアルバムをお楽しみいただくには、あらかじめパソコンなどでユーザ・パスワード登録しておく必要があります。
  - 本製品ではじめてアクセスする際は、New User アイコンを選択しパソコンで登録したユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

- インターネット接続環境によっては、正常に再生できないことがあります。
- 外部コンテンツのアクセスには高速インターネットへの接続が必要であり、プロバイダーへの登録や契約が必要となります。
- 第三者が提供するコンテンツのサービスは、予告なく、変更、中断、中止される可能性があり、弊社は、そのような事態に対していかなる責任も負いません。弊社は、外部コンテンツの提供サービスの継続や利用可能期間について、いかなる保証もいたしません。
- ウェブコンテンツの再生とディスクの再生は、同時に動作できません。

再生する

ご注意

- 操作の前に、本機をインターネットに接続してください **(20 ページ)**。

1 選択画面を表示する

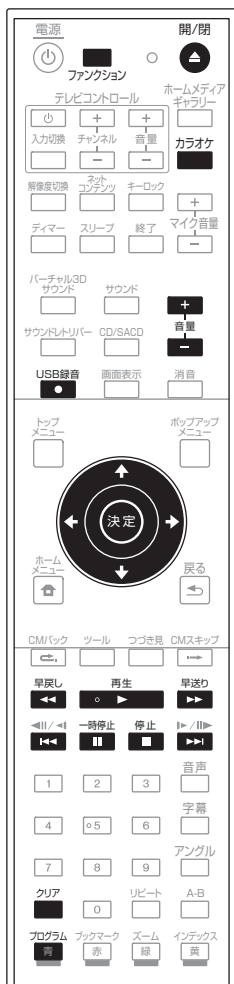
- ⌂ **ホームメニューボタン**を押して、**[ウェブコンテンツ]** を選びます。

2 ウェブコンテンツの種類を選ぶ

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 ファイルを選んで再生する

⬆/⬇/⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

- 再生をやめるには、**終了ボタン**を押します。動画の再生が終了し、ホームメニュー画面に戻ります。

オーディオ CD を USB デバイスに録音する

本機ではオーディオ CD の曲を USB デバイスに録音できます。

1 USB デバイスを本機の前面にある USB 端子に差し込む

ご注意

・接続する USB デバイスは 1 つだけにしてください。

2 ディスクトレイを開き、オーディオ CD を置く

▲ **開 / 閉ボタン**を押します。

3 ディスクトレイを閉じる

▲ **開 / 閉ボタン**を押すと、自動的に再生が始まります。

- 自動で再生を開始しないときは、リモコンの ▶ **再生ボタン**または本体の ▶/II **再生 / 一時停止ボタン**を押して、再生を開始します。

4 CD 再生中に USB 録音ボタンを押す

CD のデータ取り込み画面が表示されます。

5 録音したい曲またはトラック番号を選ぶ

CD 内すべての曲を録音するときは、⬆/⬇/⬅/➡ で **[すべて選択]** を選んで**決定ボタン**を押します。

トラックを選んで録音するときは、⬆/⬇/⬅/➡ でトラック番号を選んで**決定ボタン**を押します。

- 選んだトラックを取り消すときは、⬆/⬇/⬅/➡ で **[すべて解除]** を選んで**決定ボタン**を押します。

6 録音速度を設定する

⬆/⬇/⬅/➡ で **[速度]** を選んで**決定ボタン**を押します。

- 押すたびに録音速度を切り換えられます。録音速度は下記のように切り換わります。

  ノーマル：曲を聴きながら録音します。
  高速：約 4 倍の速度で録音します。曲は聴けません。

7 録音を開始する

⬆/⬇/⬅/➡ で **[開始]** を選んで**決定ボタン**を押すと、録音を開始します。

8 CD レコーディング画面を終了する

録音が終了したあとに ⬆/⬇/⬅/➡ で **[取消]** を選んで決定ボタンを押します。

お知らせ

ビットレートの設定を変更するときは、⬆/⬇/⬅/➡ で **[ビットレート]** を選んで**決定ボタン**を押します。

・押すたびに設定値を切り換えられます。設定値は下記の中から選べます。
[64kbps] ⇒ [96kbps] ⇒ [128kbps] ⇒ [192kbps] ⇒ [256kbps] ⇒ [320kbps]
・録音を開始すると、USB デバイスにフォルダーが作成されます。
・フォルダーの数は最大 100 個です。

iPod/iPhone の音楽や映像を楽しむ

お手持ちの iPod/iPhone を本機に接続するだけで、本機で高音質に聴くことができます。また、映像を楽しむこともできます。

本機と接続しているときは、本機のリモコンおよび iPod/iPhone 本体で再生操作ができます。

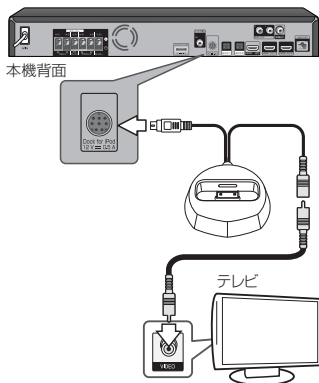
- 本機は以下の iPod/iPhone に対応しています。
- iPod touch (4th/3rd/2nd/1st generation)
- iPod classic
- iPod nano (6th/5th/4th/3rd/2nd generation)
- iPhone 4S/4/3GS/3G
- iPod nano 6G はスライドショーのみ再生できます。
- 本製品は、パイオニアホームページに記載されている iPod/iPhone のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。
- パイオニアホームページに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone にインストールしたときは、本製品との互換がなくなることがあります。
- 本機で対応していない iPod/iPhone を使うときは、市販のステレオミニプラグ付きケーブルで本機の PORTABLE IN 端子に接続してください (**18 ページ**)。
- iPod/iPhone を接続するときは、必ず本機の電源をオフにしてください。

iPod/iPhone を接続する

1 付属の iPod クレードルを本機に接続してから、iPod/iPhone をしっかりと接続する

- iPod クレードルは、コネクターの↑↓マークが上向きになるようにして接続してください。
- 本機の電源がオンのとき、iPod クレードルに iPod/iPhone を接続すると、自動的に充電が始まります。

2 テレビに接続する

iPod/iPhone の映像をテレビで楽しむ場合は、iPod クレードルの VIDEO OUT 端子とテレビの映像入力を接続します。接続には付属のビデオケーブルが必要です。付属のケーブルを本機とテレビに接続している場合は、市販のビデオケーブルを使用してください。

ご注意

- テレビを接続するときは、必ず電源をオフ（スタンバイ）にして、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは最後に接続してください。
- HDMI 出力端子からは、iPod/iPhone の映像は出力されません。
- iPod/iPhone を接続するときは、必ずお手持ちの iPod/iPhone に付属の Dock アダプター、またはお手持ちの iPod/iPhone に対応した市販の Dock アダプターを使用してください。Dock アダプターを使用せずに iPod/iPhone を接続すると、破損や故障の原因となります。
- 本機に Dock アダプターは付属しておりません。お手持ちの iPod/iPhone に付属、または市販の Dock アダプターをご用意ください。

お知らせ

- iPod/iPhone のモデルやソフトウェアのバージョンによっては一部機能が制限されます。
- iPod/iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod/iPhone のイコライザーなどの機能は、本機で操作できません。イコライザーなどの機能はオフにしてから本機に接続することをお勧めします。
- 本機と iPod/iPhone を組み合わせてお使いになるときは、万一 iPod/iPhone のデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- iPod/iPhone の機能および操作については、iPod/iPhone の取扱説明書をご覧ください。

iPod/iPhone を操作する

1 iPod/iPhone を本機に接続する

2 iPod/iPhone 入力に切り換える

ファンクションボタンを押して [iPod] を選んで、**決定ボタン**を押します。

ご注意

- 本機に取り付けた iPod/iPhone を直接触って操作するときは、iPod/iPhone 本体を手で保持しながら操作してください。

本機のリモコンで、下記の操作ができます。

ボタン	動作
▶ 再生	再生を開始します。
❚❚ 一時停止	再生を一時停止します。
■ 停止	再生を一時停止します。
⏮ 前	ファイルを頭出しします。2回押すと、1つ前のファイルを頭出しします。
⏭ 次	次のファイルを頭出しします。
◀◀	早戻しします。
▶▶	早送りします。
メニュー	iPod/iPhone メニューを表示します。
⬆/⬇/ 決定	iPod/iPhone メニューを操作します。

ご注意

- iPod/iPhone が再生できないときは、下記の項目を確認してください。
  - 本機で対応している iPod/iPhone か確認してください。
  - iPod/iPhone を接続し直してください。それでも動作しないときは、iPod/iPhone をリセットしてください。
  - iPod/iPhone のソフトウェアのバージョンに、本機が対応しているか確認してください。
- iPod/iPhone が操作できないときは、下記の項目を確認してください。
  - iPod/iPhone が正しく接続しているか確認してください。
  - iPod/iPhone 本体が操作できるか確認してください。操作できないときは、iPod/iPhone をリセットして接続し直してください。
- iPod/iPhone によっては、本機のリモコンで一部の操作ができないことがあります。

お知らせ

- 本機の入力を iPod/iPhone 以外に切り換えると、iPod/iPhone の再生が自動で一時停止になります。

FM ラジオを聴く

FM アンテナが接続されていることを確認してください **(18 ページ)**。

放送局を受信する

1 **ファンクションボタンを押して表示窓に「FM」を表示させて、決定ボタンを押す**

最後に受信した放送局が検出されます。

2 **◀◀/▶▶ または ⬆/⬇ で聴きたい放送局に周波数を合わせる**

本機上面の **TUNE –/+ ボタン**でも操作できます。

3 **リモコンの音量 (＋ / －) または本機前面のボリュームノブで音量を調整する**

放送局を記憶させる

放送局を 50 局まで記憶 (プリセット) させることができます。

1 **ファンクションボタンを押して表示窓に「FM」を表示させて、決定ボタンを押す**

最後に聴いていた放送局を受信します。

2 **◀◀/▶▶ または ⬆/⬇ で記憶させたい放送局を受信する**

3 **プログラムボタンを押す**

表示窓にプリセット番号が点滅表示されます。

4 **⬅/➡ を押して、記憶させたいプリセット番号を選択する**

5 **プログラムボタンを押す**

放送局が記憶されます。

6 **手順 2 〜 5 を繰り返して、他の放送局も記憶させる**

7 **記憶した放送局は、⬅/➡ を押して選択する**

記憶している放送局をすべて削除する

1 **停止ボタンを 2 秒以上押し続ける**

表示窓に「ERASEALL」と点滅表示されます。

2 **もう一度停止ボタンを押す**

記憶されているすべての放送局が削除されます。

放送に雑音が多いとき

雑音が多いときは、リモコンの音声ボタンを押して、ステレオからモノラルに切り換えてください。雑音が減って聴きやすくなります。

BLUETOOTH® アダプターを使用してワイヤレスで音楽を楽しむ

- *Bluetooth®* 機能搭載機器 : 携帯電話
- *Bluetooth®* 機能搭載機器 : デジタル音楽プレーヤー
- *Bluetooth®* 機能非搭載機器 : デジタル音楽プレーヤー＋ *Bluetooth®* オーディオ送信機 (市販)

別売りの BLUETOOTH® アダプター AS-BT100 または AS-BT200 を本機に接続するだけで、*Bluetooth®* 機能搭載機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。市販の *Bluetooth®* オーディオ送信機を使って、*Bluetooth®* 機能非搭載機器の音楽を楽しむこともできます。詳しくは、*Bluetooth®* アダプターや *Bluetooth®* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

- *Bluetooth®* アダプターの接続については、「BLUETOOTH® アダプターを接続する」**(19 ページ)** をご覧ください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

BLUETOOTH® 対応機器で音楽を聴く

本機と *Bluetooth®* 対応機器とのペアリング（初期登録）

ペアリングを開始する前に、*Bluetooth®* 対応機器の *Bluetooth®* 機能がオンになっていることを確認してください。詳細については、*Bluetooth®* 対応機器の取扱説明書をご覧ください。ペアリング操作は、1 回行えば次回からは不要です。

1 **ファンクションボタンを押して入力を「BLUETOOTH」に切り換えて、決定ボタンを押す**

本機の表示窓には、**「BLUETOOTH」**と表示されたあとに**「READY」**と表示されます。

2 *Bluetooth*® 機器を操作して、ペアリング操作をする

Bluetooth® 機器で本機を検索するときに、*Bluetooth*® 機器のタイプによっては、*Bluetooth*® 機器側の表示部に対応機器の一覧が表示されることがあります。本機は接続したBLUETOOTH® アダプター [AS-BT100] または [AS-BT200] と表示されます。

3 PIN コードを入力する

PIN コード：0000

本機は 0000 以外の PIN コードは設定できません。

4 本機と *Bluetooth*® 機器とのペアリングに成功すると、本機の表示窓に「SINK」と表示されます。

お知らせ

- *Bluetooth*® 機器のタイプによっては、ペアリング方法が異なることがあります。

5 *Bluetooth*® 機器で音楽を再生します。

再生のしかたは、*Bluetooth*® 機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 本機は AVRCP 機能に対応していません。
- 本機は、Mono Headset Profile (Hands Free Profile) には対応していません。
- 本機で *Bluetooth*® 機器を操作することはできません。
- 本機でワンセグの音声を *Bluetooth*® 機能で聴くことはできません。SCMS-T 方式でコンテンツ保護されている音楽を聴くことはできません。
- 本機でペアリングできる *Bluetooth*® 機器は 1 台のみで、複数台とのペアリングはできません。
- *Bluetooth*® 機器のタイプによっては、*Bluetooth*® 機能を使用できないことがあります。
- *Bluetooth*® 接続をしていないときは、本機の表示窓に「READY」と表示されます。
- *Bluetooth*® アダプターを接続していないときは、本機の表示窓に「NO DEV」と表示されます。
- 他の電波によって接続が干渉されると、音声がとぎれることがあります。
- 医療機器、電子レンジ、無線 LAN 装置など、同じ周波数を使用している装置による影響で誤動作が起きたときは、*Bluetooth*® 接続が切断されます。
- *Bluetooth*® 機器と本機との距離が 10 メートル以内であっても、間に障害物があると、*Bluetooth*® 機器を接続できません。
- *Bluetooth*® 機器と本機との間に障害物が入って通信が遮断されると、*Bluetooth*® 接続が切断されます。
- *Bluetooth*® 機器と本機との距離が離れると音質が低下し、*Bluetooth*® 機器と本機との距離が動作範囲を超えると切断されます。
- 本機の電源を切ったときや、*Bluetooth*® 機器を 10 メートル以上離すと、機器との接続が切断されます。

カラオケを楽しむ

1 カラオケボタンを押す

[**本体設定**] の [**カラオケの設定**] が表示されます。

2 カラオケスイッチをオンにする

↑/↓/←/→ で [**カラオケの設定**] → [**カラオケスイッチ**] → [**オン**] を選んで**決定ボタン**を押します。

3 マイクの音量を調整する

↑/↓/←/→ で [**カラオケの設定**] → [**マイクの設定**] → [**マイク音量**] を選んで**決定ボタン**を押します。

←/→ でマイクの音量を調整し、 **戻るボタン**を押します。

4 マイクエコーを調整する

↑/↓/←/→ で [**カラオケの設定**] → [**マイクの設定**] → [**マイクエコー**] を選んで**決定ボタン**を押します。**←/→** でマイクの音量を調整し、 **戻るボタン**を押します。

5 ボーカルキャンセルをオン / オフする

↑/↓/←/→ で [**カラオケの設定**] → [**ボーカルキャンセル**] → [**オン**] または [**オフ**] を選んで**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- カラオケはディスク再生時と USB 再生時にお使いいただけます。
- ディスクや音楽によっては、ボーカルキャンセルの効果がないことがあります。
- MIC 端子にマイクを接続するときは、本機が移動しないように手でしっかりと支えてください。
- マイクの音量は、リモコンの**マイク音量ボタン**でも調整できます。
- ボーカルキャンセルをオンにすると、サラウンドの設定はオフになります。また、ボーカルキャンセルがオンのときにサラウンドの設定をオンにすると、ボーカルキャンセルがオフになります。

サウンドの設定

リモコンの**サウンドボタン**を押すと、テレビ画面にサウンド選択メニューが表示されます。

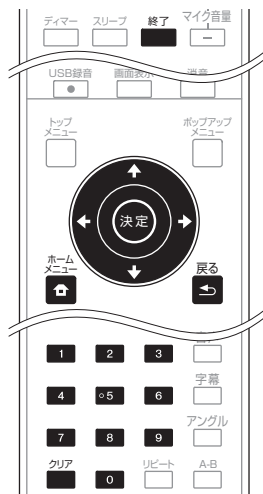
⬆/⬇/⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

設定を終了するときは、**サウンドボタン**を押します。

お知らせ

- ディスク / ファイルの停止中はサウンドメニューを表示できません。ディスク / ファイルの再生中にサウンドを切り換えてください。
- HDMI 入力 1、HDMI 入力 2 を選んでいるときは、サウンドメニューを表示できません。他の入力に切り換えてから、サウンドを切り換えてください。
- HDMI 入力 1、HDMI 入力 2 を選んでいるときは、バーチャル 3D サウンドボタンとサウンドレトリバーボタンは動作しません。

設定項目	選択項目	説明
サウンドレトリバー	オフ	WMA または MP3 音声を高音質で再生します。拡張子“.wma”または“.mp3”が付いているファイルにだけ有効です。 設定を切り換えて、良い効果が得られる設定を選んでください。
	低	
	高	
イコライザー	音にさまざまな効果を加えます。 お好みに応じてモードを選択します。	
	オフ	
	ニュース	News に適したモードです。
	ゲーム	テレビゲームに適したモードです。
	ムービー	映画に適したモードです。
	音楽	音楽に適したモードです。
サラウンド	オフ	
	バーチャル 3D サウンド最小	効果が最小　音場空間を立体的に広げる効果があります。
	バーチャル 3D サウンド中	効果が中間
	バーチャル 3D サウンド最大	効果最大
	5 Speaker Mode1	フロントスピーカーの音声をリアスピーカーからも出力します。 * 5 スピーカーモード 1 と 5 スピーカーモード 2 は、2 チャンネルと 5 チャンネルのオーディオ音声に有効です。
	5 Speaker Mode2	サブウーファー以外の 5 つのスピーカーから同じ音声が出力されます。 * 5 スピーカーモード 1 と 5 スピーカーモード 2 は、2 チャンネルと 5 チャンネルのオーディオ音声に有効です。
	Dolby PL II Movie	Dolby Pro Logic II は、ステレオ音声を 5.1 チャンネルで再生できます。Dolby PL II Movie、Dolby PL II Music は、2 チャンネルのオーディオ音声のみに有効です。
	Dolby PL II Music	
オーディオ同期	音声の遅延時間を調整して、映像と合わせます。 ⬅/➡ で調整します。	

詳細設定

設定を変更する

設定画面を操作する

1 停止中にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2 設定の種類を選んで決定する

↑/↓ で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 項目を選んで設定を変更する

↑/↓/←/→ で選んで、**決定ボタン**を押します。

ホームメニュー画面を終了するには

ホームメニューボタン、または **戻るボタン**を押します。

本体設定

お知らせ

- 本機の状態によって選べる項目が異なります。
- **太字**はお買い上げ時の設定です。

	設定項目	選択項目	説明
ディスプレイ設定	テレビの縦横比	16:9 ワイド	16:9 のワイドテレビに接続しているときに選びます。4:3 の映像を全画面に表示します。
		16:9 ノーマル	16:9 のワイドテレビに接続しているときに選びます。4:3 の映像の左右に黒い帯を入れて表示します。
		4:3 パンスキャン	4:3 のテレビに接続しているときに選びます。16:9 の映像の左右をカットして全画面に表示します。
		4:3 レターボックス	4:3 のテレビに接続しているときに選びます。16:9 の映像の上下に黒い帯を入れて表示します。
	画質調整	お使いのテレビに合わせて、再生する映像の画質を調整できます **(46 ページ)**。	
	シャープネス	高	シャープネスのレベルを設定します。
		中	
		低	
	ディテール	**標準**	映像出力モードを設定します。
		ファイン	
		シネマ	
		カスタム	
	[カスタム] にある [CTI] は、色信号の輪郭部の見えかたを調整します。		
	ノイズリダクション	**0**	ノイズリダクションのレベルを設定します。
		1	
		2	
		3	
	ネットコンテンツ	オン	圧縮された画像を自動的に修復したいときに設定します。
		オフ	

	設定項目	選択項目	説明
音声出力	DRC	オフ	DRC 機能を使わずに音声を出力するときに選びます。
		オン	大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。たとえば、映画のセリフなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るときなどに選びます。
		自動	ディスクの音声入力に合わせて、DRC 機能のオンとオフを自動で設定するときに選びます。Dolby TrueHD の信号にのみ有効です。
	• Dolby Digital や Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus などの音声に効果があります。 • ディスクによっては効果が小さいことがあります。		
	スピーカー設定	各スピーカーのトリム（出力レベル）と、ディレイ（視聴位置との距離）を調整します。 詳しくは、「スピーカー設定を調整する」をご覧ください **(46 ページ)**。	
	テストトーン	スピーカーからテストトーンを出力します。	
HDMI	カラースペース	RGB	映像を RGB 信号で出力するときに選びます。色が薄く黒色が浮いて見えるときには、こちらを選んでください。
		YCbCr	映像を色差信号（YCbCr4:4:4）で出力するときに選びます。
		YCbCr422	映像を色差信号（YCbCr4:2:2）で出力するときに選びます。
		Full RGB	映像を RGB 信号で出力するときに選びます。色が濃く黒色が沈んで見えるときには、こちらを選んでください。
	解像度	**自動**	画面の解像度を自動で設定するときに選びます。
		480i	選んだ設定の解像度で映像を出力します。 リモコンの**解像度切換ボタン**でも解像度を切り換えられます。ただし、[自動] の設定はできません。
		480p	
		720p	
		1080i	
		1080p	
	HDMI 音声出力	ビットストリーム	HDMI 音声信号をそのまま出力するときに選びます。
		PCM	HDMI 音声信号を PCM 音声信号に換えて出力するときに選びます。
		再エンコード	セカンダリーオーディオ、インタラクティブオーディオが含まれる BD を再生するときに、それらをミキシングして DTS 音声に変換して出力します。
		オフ	HDMI 音声信号を使用しないときに選びます。
	HDMI Deep Color	30 ビット	30 ビットカラーで出力するときに選びます。
		36 ビット	36 ビットカラーで出力するときに選びます。
		オフ	通常の 24 ビットカラーで出力するときに選びます。
	1080/24p 出力	**オン**	解像度で [自動] または [1080p] を選択している状態で、1080p/24 の映像に対応したテレビに 1080p/24 の映像を出力するときに選びます。
		オフ	解像度で [1080p] を選択している状態で、1080p/60 の映像に対応したテレビに 1080p/60 の映像を出力するときに選びます。
	HDMI 3D	**自動**	3D 映像の録画されたディスクを3D 映像のまま再生します。
		オフ	3D 映像を再生しません。
	3D 注意文	**はい**	3D 映像を再生する前に、3D 注意文を表示するか、しないかを選びます。
		いいえ	
ネットワーク	IP アドレス設定	本機および DNS サーバーの IP アドレスを選びます。	
	プロキシサーバー	プロキシサーバーのみを設置するときはプロバイダーにお問い合わせください。	
	情報	MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー (プライマリー)、DNS サーバー (セカンダリー) の値を表示します。	
	接続テスト	ネットワーク接続をテストし、状態を表示します。	
	インターネット接続	**許可**	インターネットに接続するときに選びます。
		解除	インターネットに接続しないときに選びます。
	BD-LIVE 接続	**許可**	すべてのディスクの BD-LIVE 接続を許可します。
		一部許可	安全性が確認できたディスクのみ、BD-LIVE 接続を許可します。
		禁止	すべてのディスクの BD-LIVE 接続を禁止します。
	DLNA	**許可**	DLNA サーバーに接続するときに選びます。
		解除	DLNA サーバーに接続しないときに選びます。
	インターフェース	**イーサネット**	LAN 端子を使ってネットワークに接続するときに選びます。
		ワイヤレス	ワイヤレスでネットワークに接続するときに選びます。
	ワイヤレス設定	ワイヤレス設定を行います。詳しくは「ワイヤレス設定をする」**(20 ページ)** をご覧ください。	

	設定項目	選択項目	説明
言語	画面表示言語	**日本語**	テレビ画面に表示される操作画面の言語を日本語で表示するときに選びます。
		English	テレビ画面に表示される操作画面の言語を英語で表示するときに選びます。
	音声言語 ※ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。	**日本語**	BD-ROM または DVD ビデオの音声を日本語で聴くときに選びます。
		次画面へ	任意の言語を選びます。「言語コード表」**(50 ページ)** を見ながら操作します。
	BD-ROM または DVD ビデオに収録されていない言語を設定したときは、収録されている言語の中から自動で選んで再生します。		
	字幕言語 ※ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。	**日本語**	BD-ROM または DVD ビデオの字幕を日本語で表示するときに選びます。
		次画面へ	任意の言語を選びます。「言語コード表」**(50 ページ)** を見ながら操作します。
		オフ	字幕を表示しないときに選びます。
	BD-ROM または DVD ビデオに収録されていない言語を設定したときは、収録されている言語の中から自動で選んで再生します。		
	メニュー言語 ※ディスクによっては選んだ言語に変更されないことがあります。	**日本語**	BD-ROM または DVD ビデオのメニュー画面を日本語で表示するときに選びます。
		次画面へ	任意の言語を選びます。「言語コード表」**(50 ページ)** を見ながら操作します。
	BD-ROM または DVD ビデオに収録されていない言語を設定したときは、収録されている言語の中から自動で選んで再生します。		
再生	アングルマーク	**オン**	テレビ画面にアングルマークを表示するときに選びます **(28、31 ページ)**。
		オフ	テレビ画面にアングルマークを表示しないときに選びます。
	第2映像マーク	**オン**	テレビ画面に第2映像マークを表示するときに選びます **(31 ページ)**。
		オフ	テレビ画面に第2映像マークを表示しないときに選びます。
	第 2 音声マーク	**オン**	テレビ画面に第 2 音声マークを表示するときに選びます **(31 ページ)**。
		オフ	テレビ画面に第 2 音声マークを表示しないときに選びます。
	DivX(R) VOD DRM	DivX ファイルを再生するときに必要な登録コードを表示します。	
	インターネット設定	**許可**	パスワードの入力無しで、ウェブコンテンツを視聴できます。
		一部許可	パスワードを入力すると、ウェブコンテンツが視聴できます。
		禁止	ウェブコンテンツを視聴できません。
	ディスク自動再生	**オン**	本機の電源が入ったとき、自動的にディスクトレイにあるディスクを再生したいときに選びます。
		オフ	**▶(再生) ボタン**を押してから再生するときに選びます。
	ラストメモリー	**オン**	ディスクトレイを開けたあとや本機をスタンバイ状態にしたあとでも、停止した場所を記憶して、続きから再生したいときに選びます。
		オフ	つづき見再生 **(32 ページ)** のみを使用したいときに選びます。
	PBC（プレイバックコントロール）メニュー	**オン**	PBC 対応のビデオ CD（バージョン 2.0）のメニュー画面からディスクを再生するときに選びます。
		オフ	PBC 対応のビデオ CD（バージョン 2.0）のメニュー画面を表示しないときに選びます。
	セットアップナビ	セットアップナビを使って設定を開始します。詳しくは、「セットアップナビを使って設定する」**(24 ページ)** をご覧ください。	
セキュリティ	パスワード変更	視聴制限を設定する、または視聴が制限されている BD/DVD を再生するために必要なパスワードを変更 (登録) します **(48 ページ)**。	
	視聴制限	本機の視聴制限レベルを変更します **(48 ページ)**。	
	国 / 地域	国 / 地域コードを変更します **(48 ページ)**。	

	設定項目	選択項目	説明
オプション	スクリーンセーバー	オフ	スクリーンセーバーを起動しません。
		1 分	再生を停止してから 1 分、2 分、3 分以上ボタンを操作しないと、自動でスクリーンセーバーが始まります。 リモコンを操作するとスクリーンセーバーは終わります。
		2 分	
		3 分	
	オートパワーオフ	**オフ**	自動で電源をオフにしないときに選びます。
		10 分	再生を停止してから 10 分、20 分、30 分以上ボタンを操作しないと、自動で電源がオフになります。
		20 分	
		30 分	
	クイック起動設定	オン	起動の時間を短縮したいときに選びます。
		オフ	通常の起動をしたいときに選びます。
	ソフトウェア更新	ディスク	本機のソフトウェア更新の方法を選びます。
		USB	
		ネットワーク	
	初期設定に戻す	すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。	
	システム情報	本機のシステムバージョン番号を表示します。	
	自動ディスクアップデート	**オン**	本機の更新用ファイルが記録されているディスクをセットすると、自動で確認画面が表示されます。
		オフ	本機の更新用ファイルが記録されているディスクをセットしても、確認画面を表示しません。このときにディスクを使って本機のソフトウェアを更新したいときは、[本体設定] → [オプション] → [ソフトウェア更新] → [ディスク] を選んで実行してください。
	BUDA	BUDA 情報	USB デバイス内の BUDA 保存容量を表示 / 管理します **(47 ページ)**。
		BUDA 設定	
カラオケの設定	カラオケスイッチ	**オフ**	カラオケ機能を使用しないときに選びます。
		オン	カラオケ機能を使用するときに選びます。
	マイクの設定	マイク音量	マイクのボリュームを調整するときに選びます。 マイクボリュームの調整画面で ⬅/➡ で調整します。
		マイクエコー	マイクエコーのレベルを調整するときに選びます。 マイクエコーの調整画面で ⬅/➡ で調整します。
	ボーカルキャンセル	**オフ**	ボーカルキャンセル機能をオフするときに選びます。
		オン	ボーカルキャンセル機能をオンするときに選びます。

❖ 画質を調整する

1 [ディスプレイ設定]→[画質調整]→[次画面へ]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 調整する項目を選んで設定する

⬆/⬇ で項目を選んで、⬅/➡ で設定を変更します。設定が終了したら、 **戻るボタン**を押して設定画面を閉じます。

項目	効果
明るさ	明るさをを調整します。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
色合い	緑色と赤色のバランスを調整します。
彩度	色の濃さを調整します。

❖ スピーカー設定を調整する

1 [音声出力]→[スピーカー設定]→[次画面へ]を選んで決定する

2 画面にスピーカーの絵が表示されるので、⬆/⬇/⬅/➡ でスピーカーを選んで決定ボタンを押す

3 ⬆/⬇ で[トリム]または[ディレイ]を選んで決定ボタンを押す

4 ⬅/➡ で設定を調整して決定ボタンを押す

❖ 音を聴きながらスピーカー設定を調整する

1 [音声出力]→[テストトーン]→[次画面へ]を選んで決定する

2 テストトーンを出力する

スピーカーは自動で切り換わります。

3 画面にスピーカーの絵が表示されるので、調整したいスピーカーがフォーカスされたときに決定ボタンを押す

4 ⬆/⬇ で[トリム]または[ディレイ]を選択して決定ボタンを押す

5 ⬅/➡ で設定を調整して決定ボタンを押す

1 ms = 30 cm です。

❖ IP アドレスを設定する

1 [ネットワーク]→[IP アドレス設定]→[次画面へ]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 IP アドレスを設定する

⬆/⬇/⬅/➡ で本機やDNSサーバーのIPアドレスを設定して、**決定ボタン**を押します。

- **IP アドレスを自動取得できるとき**
  IP アドレス自動取得を **[オン]** にした状態で**決定ボタン**を押します。
  ー IP アドレスが自動的に取得されます。
- **IP アドレスを自動取得できないとき**
  ⬅/➡ で IP アドレス自動取得を **[オフ]** に切り換えます。
  [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[DNS] をそれぞれ、**数字ボタン (0 ～ 9)** で番号を入力して、➡ を押します。
  入力がすべて終わったら、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- DHCP サーバー機能について詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 手動で IP アドレスを設定するときは、プロバイダーまたはネットワーク管理者に確認してから設定してください。

❖ プロキシサーバーを設定する

プロバイダーから指定されているときだけ、プロキシサーバーを設定します。

1 [ネットワーク]→[プロキシサーバー]→[次画面へ]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 [プロキシサーバー]で[使用する]または[使用しない]を選んで決定する

⬅/➡ で選んで、⬇ を押します。

- **使用する** … プロキシサーバーを使用するときに選びます。
- **使用しない** … プロキシサーバーを使用しないときに選びます。

[使用する]を選んだときは、手順 **3** に進みます。

3 サーバー指定方式を選ぶ

⬅/➡ で選んで、⬇ を押します。

- **IP アドレス** … IP アドレスを入力します。
- **サーバー名** … サーバー名を入力します。

4 [IP アドレス]または[サーバー名]を入力する

手順 **3** で[IPアドレス]を選んだときは、**数字ボタン (0 ～ 9)** で番号を入力します。⬅/➡ でカーソルを移動します。

手順 **3** で[サーバー名]を選んだときは、**数字ボタン (0 ～ 9)** でソフトウェアキーボードを起動します。⬆/⬇/⬅/➡ で文字や項目を選んで、**決定ボタン**で入力します。

5 ポート番号を入力する

⬇ で [ポート番号] を選んで、**数字ボタン (0 ～ 9)** で番号を入力します。

6 決定ボタンを押して確定する

❖ ネットワークの設定を表示する

1 [ネットワーク] → [情報] → [次画面へ] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー (プライマリー)、DNS サーバー (セカンダリー) の値を表示します。

[IP アドレス自動取得] を [オン] に設定しているときは自動で取得した値を表示します。

お知らせ

- DNS サーバーの IP アドレスが設定されていないときは 0.0.0.0 と表示されます。

❖ ネットワークの接続をテストする

1 [ネットワーク] → [接続テスト] → [開始] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

テストが終了すると「ネットワークは正常です。」と表示されます。それ以外のメッセージが表示されたときは、接続または設定をご確認ください **(20、43 ページ)**。

❖ 言語設定を変更する

1 [言語] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 [画面表示言語]、[音声言語]、[字幕言語] または [メニュー言語] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 お好みの言語を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- BD/DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されている言語の中から自動で選んで再生します。

❖ BD の追加データやアプリケーションデータを消去する

BD の追加データ (BD-LIVE 機能でダウンロードしたデータや BONUSVIEW 機能で使用するデータ)、アプリケーションデータを消去します。

ご注意

- データ消去には時間がかかります。
- 消去中は電源コードを抜かないでください。

1 [BUDA] → [BUDA 設定] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 [BUDA 消去] で決定する

決定ボタンを押します。

❖ パスワードを変更する

視聴制限を設定するときに必要なパスワードを変更します。

1 [セキュリティ] → [パスワード変更] → [次画面へ] を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 パスワードを入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
⬅/➡ でカーソルを移動します。

- お買い上げ時の初期パスワードは“0000”に設定されています。

3 パスワードを再入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
⬅/➡ でカーソルを移動します。

- パスワードを変更するときは、すでに登録しているパスワードを入力してから新しいパスワードを入力します。

お知らせ

- パスワードはメモしておくことをお勧めします。
- パスワードを忘れてしまったときは、本機の設定をお買い上げ時の設定に戻してから再度パスワードを登録してください **(49 ページ)**。
- 本機の設定をお買い上げ時の設定に戻すと、パスワードも同時に初期化されます。
- 初めてパスワードを変更する際などに入力を求められることがあります。

❖ ディスクを視聴するときの視聴制限レベルを変更する

暴力シーンなどを含むBD-ROMやDVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたディスクがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクよりも小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限できます。

1 [セキュリティ]→[視聴制限]→[次画面へ]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 パスワードを入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
⬅/➡ でカーソルを移動します。

3 レベルを変更する

⬅/➡ で変更して、**決定ボタン**を押します。

お知らせ

- レベルは、[オフ]または[レベル1]～[レベル8]に設定できます。[オフ]に設定すると、視聴は制限されません。

❖ 国/地域コードを変更する

1 [セキュリティ]→[国コード]→[次画面へ]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 パスワードを入力する

数字ボタン (0～9) で番号を入力して、**決定ボタン**を押します。
⬅/➡ でカーソルを移動します。

3 国/地域コードを変更する

⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。国/地域コードについては「国/地域コード表」をご覧ください **(50ページ)**。

本機のソフトウェアを更新する

本機は下記の方法でソフトウェアを更新できます。

- インターネットから更新
- ディスクを使用した更新
- USBメモリーを使用した更新

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ホームシアターシステムに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

http://pioneer.jp/support/product/theater.html

ご注意

- ソフトウェアの更新中にUSBメモリーを抜いたり電源コードを抜かないでください。また、本体の ⏻**STANDBY/ONボタン**を5秒以上押し続けて再起動しないでください。更新が中止され、誤動作することがあります。
- ダウンロードと更新の処理があり、それぞれ時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの更新中に他の操作はできません。また、更新中は中止できません。

❖ インターネットに接続してソフトウェアを更新する

お知らせ

- 手順 1 から手順 5 はお客様の操作です(ソフトウェアをインターネットからダウンロードする操作です)。
- 手順 6 から手順 8 は本機の動作(自動)説明です(ソフトウェアを更新する動作です)。

1 インターネットに接続する

2 停止中にホームメニューを表示する

⌂ **ホームメニューボタン**を押します。

3 [本体設定]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

4 [オプション]→[ソフトウェア更新]→[ネットワーク]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

5 [はい]を選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

6 ソフトウェアをダウンロードする

画面には、ソフトウェアのダウンロード状況が表示されます。

- インターネットの接続状況によっては、ソフトウェアのダウンロードには時間がかかることがあります。

7 ソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。

8 更新を終了する

本機が自動で再起動します。

❖ USBメモリーまたはディスクを使用してソフトウェアを更新する

お知らせ

- 更新用ファイルが弊社ホームページで公開されているときは、お手持ちのパソコンでディスクまたはUSBメモリーにダウンロードしてください。更新用ファイルのダウンロードについては、弊社ホームページに記載された説明をご確認ください。
- 更新用ファイルはディスクまたはUSBメモリーのルートディレクトリに保存してください。フォルダーの中には保存しないでください。
- ディスクまたはUSBメモリーには、更新用ファイル以外のファイルは入れないでください。
- ディスクを使用した更新には、CD-RまたはCD-RWを使用してください。
- 本機はFAT32/16でフォーマットしたUSBメモリーに対応しています。お手持ちのパソコンでUSBメモリーをフォーマットするときは、下記の設定でフォーマットしてください。
  - ー ファイルシステム：FAT32
  - ー アロケーションユニットサイズ：標準のアロケーションサイズ
- ディスクまたはUSBメモリーに保存する更新用ファイルは、最新のもの1つだけにしてください。
- USBメモリーを本機に接続するときは、USB延長ケーブルを使用しないでください。USB延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。
- 手順 1 から手順 5 はお客様の操作です。
- 手順 6 から手順 7 は本機の動作(自動)説明です(ソフトウェアを更新する動作です)。

1 更新用ファイルの記録されたディスクをセットする、またはUSBメモリーを接続する

2 停止中にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

3 [本体設定]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

4 [オプション]→[ソフトウェア更新]→[ディスク]または[USB]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

5 [はい]を選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

6 ソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。

7 更新を終了する

- 更新が終了すると、本機が自動で再起動します。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 本機の電源がオンになっていることを確認する

2 停止中にホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

3 [本体設定]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

4 [オプション]→[初期設定に戻す]→[次画面へ]を選んで決定する

⬆/⬇ で選んで、**決定ボタン**を押します。

5 [決定]を選んで決定する

⬅/➡ で選んで、**決定ボタン**を押します。

6 ⏻ STANDBY/ONボタンを押して、電源をオフにする

7 ⏻ STANDBY/ONボタンを押して、電源をオンにする

お知らせ

- 本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻したあとは、セットアップナビを使って本機を再度設定してください(**24ページ**)。

言語コード表 、国 / 地域コード表

言語コード表

言語名 , **言語コード , 入力コード**

Abkhazian, **ab/abk, 0102**
Afar, **aa/aar, 0101**
Afrikaans, **af/afr, 0106**
Albanian, **sq/sqi, 1917**
Amharic, **am/amh, 0113**
Arabic, **ar/ara, 0118**
Armenian, **hy/hye, 0825**
Assamese, **as/asm, 0119**
Aymara, **ay/aym, 0125**
Azerbaijani, **az/aze, 0126**
Bashkir, **ba/bak, 0201**
Basque, **eu/eus, 0521**
Belarusian, **be/bel, 0205**
Bengali, **bn/ben, 0214**
Bihari, **bh/bih, 0208**
Bislama, **bi/bis, 0209**
Breton, **br/bre, 0218**
Bulgarian, **bg/bul, 0207**
Burmese, **my/mya, 1325**
Catalan, **ca/cat, 0301**
Central Khmer, **km/khm, 1113**
Chinese, **zh/zho, 2608**
Corsican, **co/cos, 0315**
Croatian, **hr/hrv, 0818**
Czech, **cs/ces, 0319**
Danish, **da/dan, 0401**
Dutch, **nl/nld, 1412**
Dzongkha, **dz/dzo, 0426**
English, **en/eng, 0514**
Esperanto, **eo/epo, 0515**
Estonian, **et/est, 0520**
Finnish, **fi/fin, 0609**
Fijian, **fj/fij, 0610**
Faroese, **fo/fao, 0615**
French, **fr/fra, 0618**
Galician, **gl/glg, 0712**
Georgian, **ka/kat, 1101**
German, **de/deu, 0405**
Greek, **el/ell, 0512**
Guarani, **gn/grn, 0714**
Gujarati, **gu/guj, 0721**
Hausa, **ha/hau, 0801**
Hebrew, **iw/heb, 0923**
Hindi, **hi/hin, 0809**
Hungarian, **hu/hun, 0821**
Icelandic, **is/isl, 0919**
Indonesian, **in/ind, 0914**
Interlingua, **ia/ina, 0901**
Interlingue, **ie/ile, 0905**
Inupiaq, **ik/ipk, 0911**
Irish, **ga/gle, 0701**
Italian, **it/ita, 0920**
Japanese, **ja/jpn, 1001**
Javanese, **jw/jav, 1023**
Kalaallisut, **kl/kal, 1112**
Kannada, **kn/kan, 1114**
Kashmiri, **ks/kas, 1119**
Kazakh, **kk/kaz, 1111**
Kinyarwanda, **rw/kin, 1823**
Kirghiz, **ky/kir, 1125**
Korean, **ko/kor, 1115**
Kurdish, **ku/kur, 1121**
Lao, **lo/lao, 1215**
Latin, **la/lat, 1201**
Latvian, **lv/lav, 1222**
Lingala, **ln/lin, 1214**
Lithuanian, **lt/lit, 1220**
Macedonian, **mk/mkd, 1311**
Malagasy, **mg/mlg, 1307**
Malay, **ms/msa, 1319**
Malayalam, **ml/mal, 1312**
Maltese, **mt/mlt, 1320**
Maori, **mi/mri, 1309**
Marathi, **mr/mar, 1318**
Mongolian, **mn/mon, 1314**
Moldavian, **mo/mol, 1315**
Nauru, **na/nau, 1401**
Nepali, **ne/nep, 1405**
Norwegian, **no/nor, 1415**
Occitan, **oc/oci, 1503**
Oriya, **or/ori, 1518**
Oromo, **om/orm, 1513**
Panjabi, **pa/pan, 1601**
Persian, **fa/fas, 0601**
Polish, **pl/pol, 1612**
Portuguese, **pt/por, 1620**
Pushto, **ps/pus, 1619**
Quechua, **qu/que, 1721**
Rundi, **rn/run, 1814**
Russian, **ru/rus, 1821**
Romanian, **ro/ron, 1815**
Romansch, **rm/roh, 1813**
Samoan, **sm/smo, 1913**
Sango, **sg/sag, 1907**
Sanskrit, **sa/san, 1901**
Scottish-Gaelic, **gd/gla, 0704**
Serbian, **sr/srp, 1918**
Serbo-Croatian, **sh/---, 1908**
Shona, **sn/sna, 1914**
Sindhi, **sd/snd, 1904**
Sinhalese, **si/sin, 1909**
Slovak, **sk/slk, 1911**
Slovenian, **sl/slv, 1912**
Somali, **so/som, 1915**
Sotho, Southern, **st/sot, 1920**
Spanish, **es/spa, 0519**
Sundanese, **su/sun, 1921**
Swahili, **sw/swa, 1923**
Swati, **ss/ssw, 1919**
Swedish, **sv/swe, 1922**
Tagalog, **tl/tgl, 2012**
Tajik, **tg/tgk, 2007**
Tamil, **ta/tam, 2001**
Tatar, **tt/tat, 2020**
Telugu, **te/tel, 2005**
Thai, **th/tha, 2008**
Tibetan, **bo/bod, 0215**
Tigrinya, **ti/tir, 2009**
Tonga (Tonga Islands), **to/ton, 2015**
Tsonga, **ts/tso, 2019**
Tswana, **tn/tsn, 2014**
Turkmen, **tk/tuk, 2011**
Turkish, **tr/tur, 2018**
Twi, **tw/twi, 2023**
Ukrainian, **uk/ukr, 2111**
Urdu, **ur/urd, 2118**
Uzbek, **uz/uzb, 2126**
Vietnamese, **vi/vie, 2209**
Volapük, **vo/vol, 2215**
Welsh, **cy/cym, 0325**
Western Frisian, **fy/fry, 0625**
Wolof, **wo/wol, 2315**
Xhosa, **xh/xho, 2408**
Yiddish, **ji/yid, 1009**
Yoruba, **yo/yor, 2515**
Zulu, **zu/zul, 2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域名 , **国 / 地域コード , 入力コード**

アイスランド , **is, 0919**
アイルランド , **ie, 0905**
アゼルバイジャン , **az, 0126**
アメリカ , **us, 2119**
アルゼンチン , **ar, 0118**
アルメニア , **am, 0113**
アンギラ , **ai, 0109**
アンティグア・バーブーダ , **ag, 0107**
イギリス , **gb, 0702**
イギリス領バージン諸島 , **vg, 2207**
イスラエル , **il, 0912**
イタリア , **it, 0920**
インド , **in, 0914**
インドネシア , **id, 0904**
ウクライナ , **ua, 2101**
ウズベキスタン , **uz, 2126**
ウルグアイ , **uy, 2125**
エストニア , **ee, 0505**
オーストラリア , **au, 0121**
オーストリア , **at, 0120**
オランダ , **nl, 1412**
ガイアナ , **gy, 0725**
カザフスタン , **kz, 1126**
カナダ , **ca, 0301**
韓国 , **kr, 1118**
キプロス , **cy, 0325**
ギリシャ , **gr, 0718**
キルギス , **kg, 1107**
グリーンランド , **gl, 0712**
グルジア , **ge, 0705**
グレナダ , **gd, 0704**
クロアチア , **hr, 0818**
ケイマン諸島 , **ky, 1125**
コロンビア , **co, 0315**
サンマリノ , **sm, 1913**
ジャマイカ , **jm, 1013**
シンガポール , **sg, 1907**
スイス , **ch, 0308**
スウェーデン , **se, 1905**
スペイン , **es, 0519**
スリナム , **sr, 1918**
スロバキア , **sk, 1911**
スロベニア , **si, 1909**
セントクリストファー・ネビス , **kn, 1114**
セントビンセント・グレナディーン , **vc, 2203**
セントルシア , **lc, 1203**
タークス・カイコス諸島 , **tc, 2003**
タイ , **th, 2008**
台湾 , **tw, 2023**
タジキスタン , **tj, 2010**
チェコ , **cz, 0326**
中国 , **cn, 0314**
チュニジア , **tn, 2014**
チリ , **cl, 0312**
デンマーク , **dk, 0411**
ドイツ , **de, 0405**
ドミニカ , **dm, 0413**
ドミニカ共和国 , **do, 0415**
トリニダード・トバゴ , **tt, 2020**
トルクメニスタン , **tm, 2013**
トルコ , **tr, 2018**
日本 , **jp, 1016**
ニュージーランド , **nz, 1426**
ノルウェー , **no, 1415**
ハイチ , **ht, 0820**
パキスタン , **pk, 1611**
バハマ , **bs, 0219**
バミューダ諸島 , **bm, 0213**
バルバドス , **bb, 0202**
ハンガリー , **hu, 0821**
フィリピン , **ph, 1608**
フィンランド , **fi, 0609**
プエルトリコ , **pr, 1618**
ブラジル , **br, 0218**
フランス , **fr, 0618**
ブルガリア , **bg, 0207**
ベネズエラ , **ve, 2205**
ベラルーシ , **by, 0225**
ベリーズ , **bz, 0226**
ペルー , **pe, 1605**
ベルギー , **be, 0205**
ポーランド , **pl, 1612**
ポルトガル , **pt, 1620**
香港 , **hk, 0811**
マケドニア , **mk, 1311**
マルタ , **mt, 1320**
マレーシア , **my, 1325**
メキシコ , **mx, 1324**
モナコ , **mc, 1303**
モルドバ , **md, 1304**
モントセラト , **ms, 1319**
ラトビア , **lv, 1222**
リトアニア , **lt, 1220**
リヒテンシュタイン , **li, 1209**
ルーマニア , **ro, 1815**
ルクセンブルク , **lu, 1221**
ロシア , **ru, 1821**

使用上のご注意

本機を移動するときのご注意

本機を移動するときは、必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン** (またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**) を押して、表示窓の [OFF] 表示が消えて 10 秒以上待ってから、電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

組み合わせて使用するテレビや AV システムの近くの安定した場所を選んでください。

テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリやタバコの煙の多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所 (台所など)

❖ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

❖ 通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

❖ 熱を受けないようにする

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れるときはアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

⚠ 注意

本機を設置するときには、壁から 10 cm 以上の間隔をあけてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。
ラックなどに入れるときは、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 本機の使用環境温度範囲は +5 ℃～ +35 ℃、使用環境湿度は 85 % 以下 (通風孔が妨げられていないこと) です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源をオンにしたままテレビをつけると画面にしま模様が出るときがありますが、本機やテレビの故障ではありません。このようなときは本機の電源を切ってください。ラジオの音声のときも同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。そのときは本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。

化学ぞうきんなどをお使いのときは、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ▲ **開 / 閉ボタン**を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、「保証とアフターサービス」**(58 ページ)** をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使うとレンズを破損する恐れがありますので、使用しないでください。

ディスクの取り扱いについて

損傷のあるディスク (ひびやそりのあるディスク) は使用しないでください。

ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。

ディスクを一度に 2 枚以上入れないでください。

ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからお使いください。

ディスクのレーベル面の記入には、鉛筆やボールペンなどの筆先の硬いものを使用しないでください。

❖ 保管

必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。

ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

❖ ディスクのお手入れ

ディスクに指紋やホコリが付くと、再生できなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

❖ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク (ハート型や六角形など) は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクは使用しないでください。

❖ ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります (結露)。ディスクが結露していると正常に再生できないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器 (テレビなど) もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは「保証とアフターサービス」**(58 ページ)** をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

映像

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
映像が映らない。または映像がきれいに映らない。	映像ケーブルが正しく接続されていますか。	• 接続している機器に合わせて、ケーブルを正しく接続してください **(17 ～ 23 ページ)**。 • 映像ケーブル (ビデオ / オーディオケーブルや HDMI ケーブル) を一度抜き、再度奥までしっかり差し込んでください。
	映像ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	接続しているテレビの入力は正しいですか。	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
	解像度は正しく設定されていますか。	解像度切換ボタンで映像と音声が出力される解像度に切り換えてください。
	• ハイスピード HDMI®/TM ケーブル以外の HDMI ケーブル (スタンダード HDMI ケーブル) で接続していませんか。 • イコライザーを内蔵している HDMI ケーブルで接続していませんか。	お使いの HDMI ケーブルや本機の設定によっては、1080p 映像や Deep Color が正しく出力されないことがあります。ホームメニューの [本体設定] から [オプション] → [初期設定に戻す] を選び、映像出力をお買い上げ時の設定に戻してください **(49 ページ)**。そのあと 1080p や Deep Color で出力したいときは、イコライザーを内蔵していないハイスピード HDMI®/TM ケーブルを使ってテレビと接続して、[セットアップナビ] で本機を再設定してください **(24 ページ)**。
	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器を接続すると映像が正しく映らないことがあります。
	[カラースペース] が正しく設定されていますか。	[カラースペース] の設定を変更してください **(43 ページ)**。
BD を再生しても映像が映らない、またはハイビジョンで出力されない。		ディスクによっては、映像端子から映像を出力できないことがあります。このときは HDMI ケーブルを使って接続してください **(17 ページ)**。
• 再生中に映像が乱れる。 • 映像が暗い。		• 本機はロヴィコーポレーションのアナログコピー保護技術に対応しています。テレビ (ビデオデッキを内蔵したものなど) によっては、コピー保護されたディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。 • DVD レコーダーやビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、アナログコピー保護によって映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください。
• 映像が伸びている。 • 映像が切れている。 • 縦横比が切り換えられない。	テレビの縦横比は正しく設定されていますか。	テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。
	本機の [テレビの縦横比] は正しく設定されていますか。	本機の [テレビの縦横比] を正しく設定してください **(42 ページ)**。
		HDMI 出力端子から 1080/24p、1080/60i、1080/60p、または 720/60p の解像度で映像を出力しているときは、[テレビの縦横比] が [4:3] に設定されていても 16:9 で出力されることがあります **(42 ページ)**。
映像がとぎれる。		記録されている映像の解像度が切り換わるときに映像がとぎれることがあります。**解像度切換ボタン**で解像度を [自動] 以外に設定してください。
3D 映像が出力されないまたは 3D 映像に見えない。		• 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続してください。 • テレビの 3D 設定を確認してください。

音声

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
• 音声が出ない。 • 音声が正しく出力されない。	スロー再生、早送り / 早戻ししていませんか。	スロー再生中、早送り / 早戻し中は音声が出力されません。
	音声ケーブルが正しく接続されていますか。	• 接続している機器に合わせて、ケーブルを正しく接続してください **(18、19 ページ)**。 • ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
	音声ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	[音声出力] は正しく設定されていますか。	接続している機器に合わせて、[音声出力] を正しく設定してください **(43 ページ)**。
	接続している機器は正しく設定されていますか。	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、音量、入力、およびスピーカーの設定などを確認してください。
マルチチャンネル音声が出力されない。	マルチチャンネル音声を選んでいますか。	メニュー画面または音声ボタンでディスクの音声をマルチチャンネル音声に切り換えてください。
サラウンドまたはセンタースピーカーから音が出ない。		• スピーカーが正しく接続されているか確認してください。 • [音声出力] の [スピーカー設定] で、ボリュームの設定を確認してください **(43 ページ)**。
サブウーファーから音が出ない。		• 再生している音声信号に低音域の成分が含まれていないときは、サブウーファーから音は出ません。 • [音声出力] の [スピーカー設定] で、ボリュームの設定を確認してください **(43 ページ)**。
ラジオ受信中に雑音が多い。		• アンテナを接続して最良な受信位置に設置してください。 • 屋外に FM アンテナを設置してください。 • 雑音を生じさせる機器の電源を切るか本機から遠ざけてください。

再生

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
• ディスクを再生できない。 • ディスクトレイが自動で開く。	本機で再生できるディスクですか。	• 本機で再生できるディスクか確認してください **(8 ページ)**。 • ファイナライズされていないディスクは再生できません。
	本機で再生できるファイルですか。	• 本機で再生できるファイルか確認してください **(10 ページ)**。 • ファイルが壊れていないか確認してください。
	ディスクに傷がついていませんか。	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください **(52 ページ)**。
	ディスクに紙やシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。
	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていますか。	• 印刷面を上にセットしてください。 • ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください。
	リージョンナンバーは正しいですか。	本機が再生できるディスクのリージョンナンバーを確認してください **(10 ページ)**。
テレビ画面が止まって操作できない。		• **■ (停止) ボタン**を押して再生を停止してから、再度再生してください。 • 停止できないときは、本体前面部の **⏻ STANDBY/ON ボタン**を押して電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 • 本体の **⏻ STANDBY/ON ボタン**を 5 秒以上押し続けます。本機が再起動して操作ができるようになります。
字幕が切り換えられない。		レコーダーで録画したディスクでは字幕を切り換えられません。
ディスクをセットしたあと、「読込中」と表示されたまま再生が始まらない。	ディスクに記録されているファイル数が多すぎませんか。	ファイルが記録されているディスクをセットしたとき、記録されているファイル数によっては読み込みに数分から数十分かかることがあります。
ファイル名などに「■」が表示される。		本機で表示できない文字は■で表示されます。
BD-ROM を再生しているときに記憶領域 (ローカルストレージ) 不足のメッセージが表示された。		• USB デバイスを接続してください。 • [BUDA] でデータを消去してください **(47 ページ)**。

ネットワーク

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
ネットワークに接続できない。		• LAN ケーブルを奥までしっかりと差し込んでください **(20 ページ)**。 • モジュラーケーブルでは接続しないでください。LAN(10/100) 端子には LAN ケーブルを使用してください。 • イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) またはモデムの電源がオンになっているか確認してください。 • イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) またはモデムが正しく接続されているか確認してください。 • ネットワークの設定を確認してください。
BD-LIVE 機能 (BD のインターネット接続) が使えない。		• ネットワークの接続と設定を確認してください。 • USB メモリーを接続してください。 • USB メモリーのデータを消去してください。 • BD-LIVE 機能対応の BD-ROM か確認してください。 • 接続テストを実行してください **(47 ページ)**。「ネットワークは正常です。」と表示されたときは、[本体設定] → [ネットワーク] → [プロキシサーバー] → [次画面へ] でプロキシサーバーの設定を確認してください **(46 ページ)**。また、インターネットの接続に問題がある可能性があります。プロバイダーにご相談ください。
BD-LIVE に対応したディスクを読み込むときに「BD のインターネット接続を許可しますか ?」と表示される。		BD-ROM のネットワーク接続証明書が無効なときに表示されます。接続を許可しないときは [いいえ] を選んでください。
接続テストを実行すると「ネットワークは正常です。」以外のメッセージが表示された。	「LAN ケーブルが接続されていません。」と表示されますか。	本機とイーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) が正しく接続されているか確認してください。
	•「IP アドレスを取得できません。」と表示されますか。 •「ゲートウェイから応答がありません。」と表示されますか。	• IP アドレスを自動で設定したときは、[情報] で正しく設定されているか確認してください **(43 ページ)**。詳しくは、イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の取扱説明書をご覧ください。 • IP アドレスを手動で設定してください。
	「IP アドレスが重複しています。」と表示されますか。	• イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の DHCP サーバー機能の動作、設定を確認してください。詳しくは、イーサネットハブの取扱説明書をご覧ください。 • 本機の IP アドレスを手動で設定したときは、本機または他機器の IP アドレスを設定し直してください。
	イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) は正しく動作していますか。	• イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) の DHCP サーバー機能の動作、設定を確認してください。詳しくは、イーサネットハブの取扱説明書をご覧ください。 • イーサネットハブ (ハブ機能を持ったルーター) を再起動してください。
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。		接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされているときは、機器に接続できないことがあります。
	本機の電源がオンの状態で、電源がオフだったネットワーク上の機器の電源をオンにしていませんか。	本機の電源をオンにする前にネットワーク上の機器の電源をオンにしておいてください。
		接続している機器の設定が正しくされているか確認してください。クライアントを自動で承認（許可）したときは、改めて入力する必要があります。接続の設定が「許可しない」になっていないか確認してください。
		接続している機器に再生できるファイルがないときは、保存されているファイルを確認してください。
再生が始まらない。	接続している機器の電源や接続が切れていませんか。	接続している機器の電源や接続を確認してください。
パソコンが正しく動作しない。	IP アドレスは正しく設定されていますか。	ルーターの DHCP サーバー機能をオンにするか、ネットワーク環境に合わせて、本機の IP アドレス、プロキシを手動で設定してください。
		IP アドレスを自動設定しているときは、時間がかかります。しばらくお待ちください。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。		パソコンに Windows Media Player11 または 12 がインストールされているか確認してください。
		音楽ファイルが、MP3 、WAV（LPCM のみ）、MPEG-4AAC、FLAC、WMA フォーマットで記録されているか確認してください。それらのファイルであっても本機で再生できないこともあります。
	Windows Media Player 11 または 12 で MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生しようとしていませんか。	Windows Media Player 11 または 12 では MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生することはできません。他のサーバーを使用してください。
		ネットワークに接続している機器が待機状態やスリープモードになっていないか確認してください。必要に応じて再起動してみてください。
		ネットワークに接続している機器がファイルの共有を許可していないときは、接続している機器の設定を変更してください。
	ネットワークに接続している機器のフォルダーが削除または破損していませんか。	フォルダーを確認してください。
		ネットワークに接続している機器の設定で接続が制限されているときがあります。ネットワークに接続している機器の接続やセキュリティの設定を確認してください。
Windows Media Player 11 または 12 に接続できない。	OS に Windows XP または Windows7 を使用しているパソコンで、ドメインにログオンしていませんか。	ドメインではなく、ローカルマシンにログオンしてください。
音声が自動で停止したり乱れたりする。		本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。本機で再生できる拡張子がついたファイルでも再生できないことや表示されないことがあります。
		フォルダーが壊れていないか確認してください。
	LAN ケーブルが抜けていませんか。	LAN ケーブルを正しく接続してください。
	同一ネットワーク上でインターネット通信が行われているなど、ネットワークの通信が混雑していませんか。	ネットワーク上の機器と接続するときは 100BASE-TX をお使いください。
	同一ネットワーク上に無線 LAN を経由する接続がありませんか。	• 無線 LAN で使用する 2.4 GHz 帯の帯域が不足している可能性があります。無線 LAN を経由しない有線 LAN で接続してください。 • 2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、ゲーム機など）を離して設置してください。それでも改善されないときは、電磁波を発する他機器の使用をやめてください。

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていますか。	• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。 • 電源コードを一度抜いて、数秒後にふたたびコンセントに差し込んでください。
勝手に電源が切れる。		オートパワーオフが設定されてるときは、自動で電源オフになります。オートパワーオフの設定を確認してください **(45 ページ)**。
リモコンで操作できない。	本体から離れた場所で操作していませんか。	リモコン受光部との距離が７ m の範囲で操作してください。
	電池がなくなっていませんか。	電池を交換してください **(7 ページ)**。
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源がオンのときに電源コードを抜いていませんか。 • 停電が起きていませんか。	電源コードは、必ず本体前面部の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**を押して本体表示窓の表示が消えてから１０秒以上待ってから抜いてください。特に、他機器の AC アウトレットに本機の電源コードを接続しているときは、その機器の電源と連動して本機の電源がオフになりますのでご注意ください。
USB デバイスが正しく動作しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか。	• 本機の電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 • 本機の電源をオフにして、USB デバイスを接続し直してください **(23 ページ)**。
	USB 延長ケーブルを使用していませんか。	USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機が正しく動作しないことがあります。
	メモリーカードリーダーや USB ハブなどを経由して **USB 端子**に USB デバイスを接続していませんか。	メモリーカードリーダーや USB ハブなどを経由して USB デバイスを接続すると、動作しないことがあります。
	USB デバイスに複数のパーティションを設定していませんか。	USB デバイスに複数のパーティションを設定しているときは、認識しないことがあります。
	USB デバイスが書き込み禁止になっていませんか。	本機の電源をオフにしてから USB デバイスの書き込み禁止を解除してください。
	USB デバイスのファイルシステムは FAT16 または FAT32 ですか。	FAT16 または FAT32 のファイルシステムで初期化されている USB デバイスだけ使用できます。
		USB デバイスによっては動作しないことがあります。
表示窓が暗い。		リモコンの**ディマーボタン**を押して、表示部の明るさを選択してください。

お知らせ

- **仕様および外観は予告なく変更することがあります。**
- **本機のサポート関連情報については、パイオニアの Web サイトをご覧ください。**
  http://pioneer.jp/support/

保証書（別添）について

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に **53 ～ 57 ページ**の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。

それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、裏表紙に記載の修理受付窓口またはお買い求めの販売店へご依頼ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができないときは、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」（裏表紙）をご覧になり、修理受付窓口にご相談ください。

連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：ブルーレイディスクサラウンドシステム
- 型番：HTZ-626BD
- お買い求め日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店などでの営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障したときは、保証期間内でも有償修理を承ります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja

サービス拠点のご案内

サービス拠点のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆ 北海道サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆ 東北サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3112	仙台市泉区八乙女2-11-10
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10

●東京都内

受付　月～金　9:30～18:00　土　9:30～17:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6　吉崎ビル1F
北東京サービスステーション	FAX 03-3601-8070	〒125-0061	東京都葛飾区亀有3丁目11-1
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆関東サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
☆千葉サービスステーション	FAX 047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
☆埼玉サービスステーション	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0911	宇都宮市問屋町3172-1　組合会館内
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX 025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX 054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-5-11
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-50-0889	〒630-8141	奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国･四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-1-9　ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒861-2118	熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0034	鹿児島市田上6丁目29-55

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121		

平成24年3月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

電波に関するご注意

本機は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器 (電子レンジやコードレスフォンなど) で使用されています。

以下のような場所で本機を使用するときは、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4 GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かないときがあります。)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出ることがあります。)
- テレビにノイズが出たときは、本機 (および本機対応製品) がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機 (および本機対応製品) をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められるときを除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての無線 LAN 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 当社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接続機器のメーカーにお問い合わせください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をお使いの方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、想定される与干渉距離は約 40 m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要さない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したときには、すみやかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止したうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置など (たとえば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したときなど、何かお困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

おもな仕様

本体部（XV-BD121W）

一般

電源電圧	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	190 W
待機時消費電力	0.5 W 未満
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約430 mm×62 mm×345 mm
本体質量（概算）	3.4 kg
許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度	85 % 以下
USB バスパワー	DC 5V ⎓ 500 mA

入力 / 出力

映像出力	1.0 V (p-p)、75 Ω、 ネガティブ sync、RCA 端子× 1
HDMI 出力 (映像 / 音声)	19 ピン（タイプ A)
アナログ音声入力	2.0 Vrms（1 kHz、0 dB)、 600 Ω、RCA 端子（L、R）× 1
デジタル入力（光）	光端子× 2 サンプリング周波数 :48 kHz、 96 kHz
PORTABLE IN	0.5 Vrms (3.5 mm ステレオジャック)
アダプター端子	5 V, 100 mA
マイク端子	マイクジャック× 1
USB 端子	4 ピン A タイプ× 2

チューナー

FM 受信周波数	76 MHz ～ 90 MHz

アンプ

定格出力（RMS）30 %	トータル：1100 W
	フロント：150 W × 2（4 Ω) (2ch 同時駆動時)
	センター：250 W（3 Ω)
	リア：150 W × 2（4 Ω) (2ch 同時駆動時)
	サブウーファー：250 W（3 Ω)
（RMS）10 %	トータル：980 W
	フロント：125 W × 2（4 Ω) (2ch 同時駆動時)
	センター：195 W（3 Ω)
	リア：125 W × 2（4 Ω) (2ch 同時駆動時)
	サブウーファー：195 W（3 Ω)

システム

信号システム	標準 NTSC カラーテレビシステム
LAN ポート	イーサネット端子× 1、 10BASE-T/100BASE-TX

無線 LAN

対応規格	IEEE 802.11b/g/n
セキュリティ	WEP、WPA、WPA2
周波数	2.412 GHz ～ 2.472 GHz
チャンネル	13 (1 ～ 13ch)

データレート※

802.11n　最大 150 Mbps

802.11g　54、48、36、24、18、12、9、6 Mbps (自動認識)

802.11b　11、5.5、2、1 Mbps (自動認識)

※無線規格の理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。

スピーカー部（S-BD121）

フロント / サラウンドスピーカー（左 / 右)

型式	密閉式ブックシェルフ型
使用スピーカー	6.6 cm（コーン型）× 1
インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	150 Hz ～ 20 kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	95 mm × 80 mm × 90 mm
本体質量	0.3 kg

センタースピーカー

型式	密閉式ブックシェルフ型
使用スピーカー	6.6 cm（コーン型）× 2
インピーダンス	3 Ω
再生周波数帯域	130 Hz ～ 20 kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	230 mm × 80 mm × 90 mm
本体質量	0.7 kg

サブウーファー

型式	バスレフ式フロア型
使用スピーカー	16 cm（コーン型）× 1
インピーダンス	3 Ω
再生周波数帯域	30 Hz ～ 1 kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	130.5 mm×420 mm×375 mm
本体質量	4.4 kg

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のＩＰ電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・ＩＰ電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120−944−222　一般電話　044−572−8102
■ファックス　044−572−8103
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーハイオニア）　一般電話　044−572−8100
■ファックス　0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120
■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　一般電話　044−572−8107
■ファックス　0120−5−81096

平成24年3月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.049

JIS C 61000-3-2 適合品

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号